

目次

工学部

＜デザインサイエンス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人玉川学園

(2) 大学名

玉川大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒194-8610

東京都町田市玉川学園六丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オバラ ヨシアキ) 小原 芳明 (平成6年4月)		
学長	(オバラ ヨシアキ) 小原 芳明 (平成6年4月)		
学部長	(ヤマザキ コウイチ) 山崎 浩一 (令和4年4月)		
学科長等	(モリカワ シゲヒロ) 川森 重弘 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 デザインサイエンス学科 学士(工学)	工学関係	4 年	60 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	240 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期															
A 入学定員	() []	60 (-) [-]	0.61倍	-	0.61倍	-											
志願者数	() []	257 (-) [-]															
受験者数	() []	238 (-) [-]															
合格者数	() []	169 (-) [-]															
B 入学者数	() []	37 (-) [-]															
入学定員超過率 B/A													0.61				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1 年次	[] ()	37 -											
2 年次	/		[] ()										
3 年次			/		[] ()								
4 年次	/				[] ()								
計			[] ()	37 -									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	37人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{37} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 デザインサイエンス学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
玉川教育・FYE科目群	一年次セミナー 101	1前	2				1	1				
	一年次セミナー 102	1後	2				1	1				
	玉川の教育	1後	0.3				1	1				
	健康教育	1前	1									1
	音楽 I	1前	0.7									1
	音楽 II	1後	1									1
	全人教育論	2前・後		2								1
	ビブリアター	2前・後		2								1
	二年次セミナー 201	2前		2								1
	二年次セミナー 202	2後		2								1
	小計(12 科目)		-	7	12	0	0	1	1	0	0	6
	ユニバーシティ・スタンダード科目群 (全学共通科目)	文化人類学	1-2-3-4後		2							
民俗学入門		1-2-3-4後		2								1
美術史		1-2-3-4後		2								1
ことばと文化		1-2-3-4後		2								1
比較文化論		1-2-3-4後		2								1
英語学		1-2-3-4後		2								1
歴史(世界)		1-2-3-4後		2								1
歴史(日本)		1-2-3-4後		2								1
日本文学		1-2-3-4後		2								1
日本学入門		1-2-3-4後		2								1
日本語学		1-2-3-4後		2								1
音楽史		1-2-3-4後		2								1
哲学		1-2-3-4後		2								1
倫理学		1-2-3-4後		2								1
ロジック		1-2-3-4後		2								1
宗教学		1-2-3-4後		2								1
世界の宗教と文化		1-2-3-4後		2								1
演劇史		1-2-3-4後		2								1
人文科学7787'ミクスズ' (ライティング)		1-2-3-4後		1								1
人文科学7787'ミクスズ' (リーディング)		1-2-3-4後		1								1
外国文学		1-2-3-4後		2								1
科学史		2-3-4後		2								1
キリスト教学		2-3-4後		2								1
名著講読(人文科学)		2-3-4後		1								1
Modern Japanese History		3-4前		2								1
Japanese Pop Culture		3-4後		2								1
Japanology		3-4前		2								1
East Asian History		4前		2								1
Issues in Japanese Studies A		4前		2								1
Issues in Japanese Studies B		4後		2								1
小計(30 科目)			0	57	0	0	0	0	0	0	0	26

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
玉川教育・FYE科目群	一年次セミナー101	1前	2				1	1				
	一年次セミナー102	1後	2				1	1				
	玉川の教育	1後	0.3				1	1				
	健康教育	1前	1									1
	音楽 I	1前	0.7									1
	音楽 II	1後	1									1
	全人教育論	2前・後		2								1
	ビブリアター	2前・後		2								1
	二年次セミナー 201	2前		2								1
	二年次セミナー 202	2後		2								1
	玉川の行事・式典 A	2-3-4後		2								1
	玉川の行事・式典 B	2-3-4後		2								1
玉川の行事・式典 C	2-3-4後		2								1	
小計(15 科目)		-	7	18	0	1	1	1	0	0	7	
ユニバーシティ・スタンダード科目群 (全学共通科目)	文化人類学	1-2-3-4後		2								1
	民俗学入門	1-2-3-4後		2								1
	美術史	1-2-3-4後		2								1
	ことばと文化	1-2-3-4後		2								1
	比較文化論	1-2-3-4後		2								1
	英語学	1-2-3-4後		2								1
	歴史(世界)	1-2-3-4後		2								1
	歴史(日本)	1-2-3-4後		2								1
	日本文学	1-2-3-4後		2								1
	日本学入門	1-2-3-4後		2								1
	日本語学	1-2-3-4後		2								1
	音楽史	1-2-3-4後		2								1
	哲学	1-2-3-4後		2								1
	倫理学	1-2-3-4後		2								1
	ロジック	1-2-3-4後		2								1
	宗教学	1-2-3-4後		2								1
	世界の宗教と文化	1-2-3-4後		2								1
	演劇史	1-2-3-4後		2								1
	人文科学7787'ミクスズ' (ライティング)	1-2-3-4後		1								1
	人文科学7787'ミクスズ' (リーディング)	1-2-3-4後		1								1
	外国文学	1-2-3-4後		2								1
	科学史	2-3-4後		2								1
	キリスト教学	2-3-4後		2								1
	名著講読(人文科学)	2-3-4後		1								1
	Modern Japanese History	3-4前		2								1
	Japanese Pop Culture	3-4後		2								1
	Japanology	3-4前		2								1
	言語心理学	3-4前		2								1
	East Asian History	4前		2								1
	Issues in Japanese Studies A	4前		2								1
Issues in Japanese Studies B	4後		2								1	
小計(31 科目)			0	59	0	0	0	0	0	0	0	26

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	会計学	1-3-401-9		2							1	
	経営学	1-3-401-9		2							1	
	マーケティング	1-3-401-9		2							1	
	コミュニケーション論	1-3-401-9		2							1	
	経済学(国際経済を含む。)	1-2-3-401		2							1	
	ポランティア概論	1-2-3-401		2							1	
	市民社会と法	1-2-3-401		2							1	
	政治学(国際政治を含む。)	1-3-401-9		2							1	
	ポリティカル・サイエンス	1-3-401-9		2							1	
	心理学	1-3-401-9		2							1	
	社会学	1-3-401-9		2							1	
	観光学入門	1-2-3-401		2							1	
	Academic Communication	2-3-401		2							1	
	国際関係論	2-3-401-9		2							1	
	科学技術社会論	2-3-401-9		2							1	
	名著講読(社会科学)	2-3-401-9		1							1	
	現代社会の教育課題	3-401-9		2							1	
	小計(17 科目)		-	0	33	0	0	0	0	0	0	16
	生物学入門	1-3-401-9		2								1
	化学入門	1-3-401-9		2								1
	環境科学	1-3-401-9		2								1
	情報科学入門	1-3-401-9		2								1
データ処理	1-3-401-9		2								1	
ネットワーク入門	1-3-401-9		2								1	
マルチメディア表現	1-3-401-9		2								1	
STEM入門(科学と社会)	1-2-3-401		2								1	
解析学入門	1-3-401-9		2								1	
数学入門	1-3-401-9		2								1	
代数学入門	1-3-401-9		2								1	
物理学入門	1-3-401-9		2		1						1	
科学入門	1-3-401-9		2		2	1					1	
統計学入門	1-3-401-9		2								1	
自然科学アカデミックスキルズ(ライティング)	1-3-401-9		1								1	
自然科学アカデミックスキルズ(リーディング)	1-3-401-9		1								1	
人工知能と社会	2-3-401		2								1	
実践の物理学	2-3-401		2								1	
宇宙科学	2-3-401-9		2								1	
エネルギー科学	2-3-401		2			1					1	
地球科学	2-3-401-9		2								1	
名著講読(自然科学)	2-3-401-9		1								1	
小計(22 科目)		-	0	41	0	2	1	0	0	0	15	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	会計学	1-3-401-9		2							1	
	経営学	1-3-401-9		2							1	
	マーケティング	1-3-401-9		2							1	
	コミュニケーション論	1-3-401-9		2							1	
	経済学(国際経済を含む。)	1-2-3-401		2							1	
	ポランティア概論	1-2-3-401		2							1	
	市民社会と法	1-2-3-401		2							1	
	政治学(国際政治を含む。)	1-3-401-9		2							1	
	ポリティカル・サイエンス	1-3-401-9		2							1	
	心理学	1-3-401-9		2							1	
	社会学	1-3-401-9		2							1	
	観光学入門	1-2-3-401		2							1	
	社会科学アカデミックスキルズ(ライティング)	1-3-401-9		1							1	
	社会科学アカデミックスキルズ(リーディング)	1-3-401-9		1							1	
	Academic Communication	2-3-401		2							1	
	国際関係論	2-3-401-9		2							1	
	科学技術社会論	2-3-401-9		2							1	
	名著講読(社会科学)	2-3-401-9		1							1	
	現代社会の教育課題	3-401-9		2							1	
	小計(19 科目)		-	0	35	0	0	0	0	0	0	18
	生物学入門	1-3-401-9		2								1
	化学入門	1-3-401-9		2								1
環境科学	1-3-401-9		2								1	
情報科学入門	1-3-401-9		2								1	
データ処理	1-3-401-9		2								1	
ネットワーク入門	1-3-401-9		2								1	
マルチメディア表現	1-3-401-9		2								1	
STEM入門(科学と社会)	1-2-3-401		2			1					1	
解析学入門	1-3-401-9		2								1	
数学入門	1-3-401-9		2								1	
代数学入門	1-3-401-9		2								1	
物理学入門	1-3-401-9		2		1						1	
科学入門	1-3-401-9		2		2	1					1	
統計学入門	1-3-401-9		2								1	
自然科学アカデミックスキルズ(ライティング)	1-3-401-9		1								1	
自然科学アカデミックスキルズ(リーディング)	1-3-401-9		1								1	
人工知能と社会	2-3-401		2								1	
実践の物理学	2-3-401		2								1	
宇宙科学	2-3-401-9		2								1	
エネルギー科学	2-3-401		2			1					1	
地球科学	2-3-401-9		2								1	
名著講読(自然科学)	2-3-401-9		1								1	
小計(22 科目)		-	0	41	0	3	1	0	0	0	17	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学際科目群 ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	マクロ脳科学	1-2-3-4後	2							1	
	ミクロ脳科学	1-2-3-4後	2							1	
	マスメディアと社会	1-2-3-4後	2							1	
	インターシッパ A	1-2-3-4後	2							1	
	インターシッパ B	1-2-3-4後	2							1	
	インターシッパ C	1-2-3-4後	1							1	
	インターシッパ D	1-2-3-4後	1							1	
	環境教育ワークショップ I	1-2-3-4後	2							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム A	1-2-3-4後	1							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム B	1-2-3-4後	1							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム C	1-2-3-4後	2							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム D	1-2-3-4後	2							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム E	1-2-3-4後	3							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム F	1-2-3-4後	3							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム G	1-2-3-4後	4							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム H	1-2-3-4後	4							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム I	1-2-3-4後	5							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム J	1-2-3-4後	5							1	
	海外留学入門	1-2-3-4後	2							1	
	国際研究 A	1-2-3-4後	2							1	
	国際研究 B	1-2-3-4後	2							1	
	国際研究 C	1-2-3-4後	2							1	
	国際研究 D	1-2-3-4後	3							1	
	国際研究 E	1-2-3-4後	4							1	
	国際研究 F	1-2-3-4後	5							1	
	情報倫理と社会	1-2-3-4後	2							1	
	TAPファシリテーション I	1-2-3-4後	2							1	
	TAPファシリテーション II	1-2-3-4後	2							1	
	地域創生プロジェクト A	1-2-3-4後	1							1	
	地域創生プロジェクト B	1-2-3-4後	1							1	
	地域創生プロジェクト C	1-2-3-4後	2							1	
	地域創生プロジェクト D	1-2-3-4後	2							1	
	地域創生プロジェクト E	1-2-3-4後	3							1	
	地域創生プロジェクト F	1-2-3-4後	3							1	
	フィールドワーク A	1-2-3-4後	2							1	
	フィールドワーク B	1-2-3-4後	2							1	
	フィールドワーク C	1-2-3-4後	2							1	
	健康スポーツ理論	1-2-3-4後	2							1	
	生涯スポーツ演習	1-2-3-4後	2							1	
	コア・プログラム	1-2-3-4後	2							1	
	野外教育	1-2-3-4後	2							1	
	環境教育ワークショップ II	1-2-3-4後	2							1	
	スポーツ史	1-2-3-4後	2							1	
	Presentation Skills in English	1-2-3-4後	2							1	
	複合領域研究 201~299	1-2-3-4後	2							1	
	数理・データサイエンス・AIリテラシー	1-2-3-4後	2							1	
	現代文化論	1-2-3-4後	2							1	
	キャリア・マネジメント	1-2-3-4後	2							1	
	病理学	3-4後	2							1	
	Japan Studies Overseas A	3-4後	2							1	
	Japan Studies Overseas B	3-4後	2							1	
	Japan Studies Overseas C	3-4後	2							1	
小計(52 科目)	-	0	118	0	0	0	0	0	0	20	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学際科目群 ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	マクロ脳科学	1-2-3-4後	2							1	
	ミクロ脳科学	1-2-3-4後	2							1	
	マスメディアと社会	1-2-3-4後	2							1	
	インターシッパ A	1-2-3-4後	2							1	
	インターシッパ B	1-2-3-4後	2							1	
	インターシッパ C	1-2-3-4後	1							1	
	インターシッパ D	1-2-3-4後	1							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム A	1-2-3-4後	1							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム B	1-2-3-4後	1							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム C	1-2-3-4後	2							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム D	1-2-3-4後	2							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム E	1-2-3-4後	3							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム F	1-2-3-4後	3							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム G	1-2-3-4後	4							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム H	1-2-3-4後	4							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム I	1-2-3-4後	5							1	
	SAE(海外留学・研修)プログラム J	1-2-3-4後	5							1	
	海外留学入門	1-2-3-4後	2							1	
	国際研究 A	1-2-3-4後	2							1	
	国際研究 B	1-2-3-4後	2							1	
	国際研究 C	1-2-3-4後	2							1	
	国際研究 D	1-2-3-4後	3							1	
	国際研究 E	1-2-3-4後	4							1	
	国際研究 F	1-2-3-4後	5							1	
	情報倫理と社会	1-2-3-4後	2							1	
	TAPファシリテーション I	1-2-3-4後	2							1	
	TAPファシリテーション II	1-2-3-4後	2							1	
	地域創生プロジェクト A	1-2-3-4後	1							1	
	地域創生プロジェクト B	1-2-3-4後	1							1	
	地域創生プロジェクト C	1-2-3-4後	2							1	
	地域創生プロジェクト D	1-2-3-4後	2							1	
	地域創生プロジェクト E	1-2-3-4後	3							1	
	地域創生プロジェクト F	1-2-3-4後	3							1	
	フィールドワーク A	1-2-3-4後	2							1	
	フィールドワーク B	1-2-3-4後	2							1	
	フィールドワーク C	1-2-3-4後	2							1	
	プレゼンテーションスキル	1-2-3-4後	2							1	
	健康スポーツ理論	1-2-3-4後	2							1	
	生涯スポーツ演習	1-2-3-4後	2							1	
	学際アカデミックスキルズ(リーディング)	1-2-3-4後	1							1	
	コア・プログラム	1-2-3-4後	2							1	
	野外教育	1-2-3-4後	2							1	
	スポーツ史	1-2-3-4後	2							1	
	Presentation Skills in English	1-2-3-4後	2							1	
	複合領域研究 201~299	1-2-3-4後	2							1	
	数理・データサイエンス・AIリテラシー	1-2-3-4後	2							1	
	現代文化論	1-2-3-4後	2							1	
	キャリア・マネジメント	1-2-3-4後	2							1	
	栄養学	3-4後	2							1	
	病理学	3-4後	2							1	
	Japan Studies Overseas A	3-4後	2							1	
	Japan Studies Overseas B	3-4後	2							1	
Japan Studies Overseas C	3-4後	2							1		
小計(53 科目)	-	0	119	0	0	0	0	0	0	22	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
言語表現科目群	ELF Introduction (A)	1-2-3-4-5	2								2
	ELF Introduction (B)	1-2-3-4-5	2								2
	ELF Introduction (C)	1-2-3-4-5	2								2
	BELF 初級	1-2-3-4-5	2								2
	ELF Communication for Teachers	1-2-3-4-5	2								1
	ELF Foundation (A)	1-2-3-4-5	2								2
	ELF Foundation (B)	1-2-3-4-5	2								2
	ELF Foundation (C)	1-2-3-4-5	2								2
	BELF 初中級	1-2-3-4-5	2								2
	ELF & Global Communication (A)	1-2-3-4-5	2								1
	ELF & Global Communication (B)	1-2-3-4-5	2								1
	ELF Academic Literacy 中級	1-2-3-4-5	2								1
	BELF 中級	1-2-3-4-5	2								1
	ELF & Global Leadership (A)	1-2-3-4-5	2								1
	ELF & Global Leadership (B)	1-2-3-4-5	2								1
	ELF Academic Literacy 上級	1-2-3-4-5	2								1
	BELF 上級	1-2-3-4-5	2								1
	フランス語 101	1-2-3-4-5	2								1
	フランス語 102	1-2-3-4-5	2								1
	ドイツ語 101	1-2-3-4-5	2								1
	ドイツ語 102	1-2-3-4-5	2								1
	日本語表現 101	1-2-3-4-5	2								1
	日本語表現 102	1-2-3-4-5	2								1
	中国語 101	1-2-3-4-5	2								1
	中国語 102	1-2-3-4-5	2								1
小計(25 科目)		—	0	50	0	0	0	0	0	0	10
ユニバーシティ・スタンダード科目群 (全学共通科目)	生涯学習概論	1-2-前	2								1
	生涯学習と生涯教育	1-2-後	2								1
	情報メディアの活用	1-2-前	2								1
	学校経営と学校図書館	1-2-前	2								1
	学校図書館メディアの構成	1-2-前	2								1
	児童サービス論	1-2-後	2								1
	情報サービス論	1-2-後	2								1
	図書・図書館史	1-2-前	1								1
	図書館概論	1-2-前	2								1
	図書館サービス概論	1-2-後	2								1
	図書館施設論	1-2-後	1								1
	図書館情報技術論	1-2-後	2								1
	図書館情報資源概論	1-2-後	2								1
	図書館情報資源特論	1-2-前	1								1
	図書館制度・経営論	1-2-前	2								1
	社会教育課題研究	2-3-前	2								1
	社会教育経営論 A	2-3-後	2								1
	社会教育経営論 B	2-3-前	2								1
	社会教育実習	2-3-後	2								1
	生涯学習支援論 A	2-3-後	2								1
	生涯学習支援論 B	2-3-前	2								1
	社会体育論	2-3-前	2								1
	情報資源組織演習 A	2-3-後	1								1
	情報資源組織演習 B	2-3-後	1								1
	情報資源組織演習 C	2-3-後	2								1
	情報資源組織論	2-3-前	2								1
	読書と豊かな人間性	2-3-後	2								1
	博物館概論	2-3-前	2								1
	博物館教育論	2-3-後	2								1
	博物館経営論	2-3-後	2								1
	博物館情報・メディア論	2-3-後	2								1
	博物館資料保存論	2-3-前	2								1
	博物館資料論	2-3-後	2								1
	博物館展示論	2-3-前	2								1
	学習指導と学校図書館	3-4-前	2								1
	情報サービス演習 A	3-4-前	1								1
	情報サービス演習 B	3-4-前	1								1
	情報サービス演習 C	3-4-前	2								1
	博物館実習	3-4-前	3								1
小計(39 科目)		—	0	72	0	0	0	0	0	0	14

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語表現科目群	ELF Introduction (A)	1-2-3-4-5	2									3
	ELF Introduction (B)	1-2-3-4-5	2									2
	ELF Introduction (C)	1-2-3-4-5	2									2
	BELF 初級	1-2-3-4-5	2									2
	ELF Communication for Teachers	1-2-3-4-5	2									1
	ELF Foundation (A)	1-2-3-4-5	2									2
	ELF Foundation (B)	1-2-3-4-5	2									2
	ELF Foundation (C)	1-2-3-4-5	2									2
	BELF 初中級	1-2-3-4-5	2									2
	ELF & Global Communication (A)	1-2-3-4-5	2									1
	ELF & Global Communication (B)	1-2-3-4-5	2									1
	ELF Academic Literacy 中級	1-2-3-4-5	2									1
	BELF 中級	1-2-3-4-5	2									1
	ELF & Global Leadership (A)	2-3-4-5	2									1
	ELF & Global Leadership (B)	1-2-3-4-5	2									1
	ELF Academic Literacy 上級	2-3-4-5	2									1
	BELF 上級	1-2-3-4-5	2									1
	フランス語 101	1-2-3-4-5	2									1
	フランス語 102	1-2-3-4-5	2									1
	ドイツ語 101	1-2-3-4-5	2									1
	ドイツ語 102	1-2-3-4-5	2									1
	日本語表現 101	1-2-3-4-5	2									1
	日本語表現 102	1-2-3-4-5	2									1
	中国語 101	1-2-3-4-5	2									1
	中国語 102	1-2-3-4-5	2									1
小計(25 科目)		—	0	50	0	0	0	0	0	0	0	16
ユニバーシティ・スタンダード科目群 (全学共通科目)	生涯学習概論	1-2-前	2									1
	生涯学習と生涯教育	1-2-後	2									1
	情報メディアの活用	1-2-前	2									1
	学校経営と学校図書館	1-2-前	2									1
	学校図書館メディアの構成	1-2-前	2									1
	児童サービス論	1-2-後	2									1
	情報サービス論	1-2-後	2									1
	図書・図書館史	1-2-前	1									1
	図書館概論	1-2-前	2									1
	図書館サービス概論	1-2-後	2									1
	図書館施設論	1-2-後	1									1
	図書館情報技術論	1-2-後	2									1
	図書館情報資源概論	1-2-後	2									1
	図書館情報資源特論	1-2-前	1									1
	図書館制度・経営論	1-2-前	2									1
	社会教育課題研究	2-3-前	2									1
	社会教育経営論 A	2-3-後	2									1
	社会教育経営論 B	2-3-前	2									1
	社会教育実習	2-3-後	2									1
	生涯学習支援論 A	2-3-後	2									1
	生涯学習支援論 B	2-3-前	2									1
	社会体育論	2-3-前	2									1
	日本語教育概論	2-3-前	2									1
	情報資源組織演習 A	2-3-後	1									1
	情報資源組織演習 B	2-3-後	1									1
	情報資源組織演習 C	2-3-後	2									1
	情報資源組織論	2-3-前	2									1
	読書と豊かな人間性	2-3-後	2									1
	博物館概論	2-3-前	2									1
	博物館教育論	2-3-後	2									1
	博物館経営論	2-3-後	2									1
	博物館情報・メディア論	2-3-後	2									1
	博物館資料保存論	2-3-前	2									1
	博物館資料論	2-3-後	2									1
	博物館展示論	2-3-前	2									1
	学習指導と学校図書館	3-4-前	2									1
	情報サービス演習 A	3-4-前	1									1
	情報サービス演習 B	3-4-前	1									1
	情報サービス演習 C	3-4-前	2									1
博物館実習	3-4-前	3									1	
小計(40 科目)		—	0	74	0	0	0	0	0	0	0	16

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
100番台科目	デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)	1前	2			5	2	1			1	
	デザインサイエンス演習(デザインを含む)	1後	2					1			2	
	数学演習	1後		2							1	
	代数学I	1後・2前	2								1	
	解析学I	1後・2前	2								1	
	物理学I	1後・2前		2			1					
	プログラミングI	1後・2前	2				1	1				
	デザインサイエンスプログラミング	1後	2					1				
	小計(8科目)	—	8	8	0	5	2	1	0	0	6	
	200番台科目	微分方程式I	2前		2							1
		確率統計学I	2前		2							1
		解析学II	2前・後		2							1
		物理学IIA	2前・後		2	1						
		物理学IIB	2前・後		2			1				
		プログラミングII	2・3前		2		1					
		デザインサイエンス演習	2前	2								1
		デザインサイエンス演習入門	2前	2				1	1			
		デザインサイエンス実験	2前・後	1			2		1			
		スケッチとドローイング	2前・後	1			1					
		色彩デザイン学	2前		2							1
管理技法		2前		2		1						
機構デザイン		2前		2		1						
数学科指導法I		2前		2							1	
工業科指導法I		2前		2							1	
技術科指導法I		2前		2							1	
確率統計学II		2後		2							1	
幾何学I		2後		2							1	
デザインサイエンス演習	2後		2			1	1					
メカニクス(材料)	2後	2			1							
人間工学	2後		2		1							
原価計算	2後		2		1							
電気回路基礎	2後		2			1						
化学と環境	2後		2		1							
数学科指導法II	2後		2							1		
工業科指導法II	2後		2							1		
技術科指導法II	2後		2							1		
小計(27科目)	—	8	44	0	5	2	1	0	0	9		

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
100番台科目	デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)	1前	2			5	2	1			1	
	デザインサイエンス演習(デザインを含む)	1後	2					1			2	
	数学演習	1後		2							1	
	代数学I	1後・2前	2								1	
	解析学I	1後・2前	2								1	
	物理学I	1後・2前		2			1					
	プログラミングI	1後・2前	2				1	1				
	デザインサイエンスプログラミング	1後	2					1				
	小計(8科目)	—	8	8	0	5	2	1	0	0	6	
	200番台科目	微分方程式I	2前		2							1
		確率統計学I	2前		2							1
		解析学II	2前・後		2							1
		物理学IIA	2前・後		2	1						
		物理学IIB	2前・後		2			1				
		プログラミングII	2・3前		2		1					
		デザインサイエンス演習	2前	2								1
		デザインサイエンス演習入門	2前	2				1	1			
		デザインサイエンス実験	2前・後	1			2		1			
		スケッチとドローイング	2前・後	1			1					
		色彩デザイン学	2前		2							1
管理技法		2前		2		1						
機構デザイン		2前		2		1						
数学科指導法I		2前		2							1	
工業科指導法I		2前		2							1	
技術科指導法I		2前		2							1	
確率統計学II		2後		2							1	
幾何学I		2後		2							1	
デザインサイエンス演習	2後		2			1	1					
メカニクス(材料)	2後	2			1							
人間工学	2後		2		1							
原価計算	2後		2		1							
電気回路基礎	2後		2			1						
化学と環境	2後		2		1							
数学科指導法II	2後		2							1		
工業科指導法II	2後		2							1		
技術科指導法II	2後		2							1		
小計(27科目)	—	8	44	0	5	2	1	0	0	9		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
300番台科目 専門科目群	デーザインSI	3前	2								1
	20世紀の物理学	3前	2			1					
	代数学II	3前	2								1
	知的財産権の基礎	3前	2		1						
	メカニクス(機械)	3前	2		1						
	メカニクス(流体)	3前	2								1
	栽培	3前	2								1
	工学倫理	3前	1	1		1					
	ユニバーサルデザイン	3前	2		1						
	起業プランニング	3前	2		1						
	金属加工実習	3前	2		1		1				
	ドラフティング応用	3前	1	1	1						
	バイオメテックス	3前	2		1						
	自然科学実験	3前	1		2	1					
	ソフトエネルギー	3前	2			1					
	数学科指導法III	3前	2								1
	職業指導(工業)I	3前	2								1
	技術科指導法III	3前	2								1
	デジタルアプリケーション演習	3後	2			1	1				
	デザインサイエンスセミナーI	3後	2		5	2	1				
	メカニクス(材料)演習	3後	1		1						
	デザイン思考	3後	2								1
	木材加工	3後	2								1
	海外研修	3後	2			1					
	インターシップ I	3前・後	1		5	2	1				
	インターシップ II	3前・後	1		5	2	1				
	インターシップ III	3前・後	1		5	2	1				
	インターシップ IV	3前・後	1		5	2	1				
	プロジェクトデザイン	3後	2		2						
	デザインと経営	3後	2		1						
	管理会計	3後	2		1						
	マトロニクス	3後	2		1						
	マトロニクス演習	3後	2		1						
	モデリングとシミュレーション	3後	2								1
	マテリアルロベツシング	3後	2		1						
	都市環境デザイン	3後	2								1
	電気回路演習	3後	1			1					
	デジタル生産加工	3後	2								1
	数学科指導法IV	3後	2								1
	職業指導(工業)II	3後	2								1
	技術科指導法IV	3後	2								1
小計(41科目)	—	2	71	0	5	2	1	0	0	11	
400番台科目	幾何学II	4前	2								1
	デザインサイエンスセミナーII	4前	2		5	2	1				
	卒業プロジェクトI	4前	2		5	2	1				
	卒業プロジェクトII	4後	2		5	2	1				
小計(4科目)	—	6	2	0	5	2	1	0	0	1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
300番台科目 専門科目群	デーザインSI	3前	2								1
	20世紀の物理学	3前	2			1					
	代数学II	3前	2								1
	知的財産権の基礎	3前	2		1						
	メカニクス(機械)	3前	2		1						
	メカニクス(流体)	3前	2								1
	栽培	3前	2								1
	工学倫理	3前	1	1		1					
	ユニバーサルデザイン	3前	2		1						
	起業プランニング	3前	2		1						
	金属加工実習	3前	2		1		1		1		
	ドラフティング応用	3前	1	1	1						
	バイオメテックス	3前	2		1						
	自然科学実験	3前	1		2	1					
	ソフトエネルギー	3前	2			1					
	数学科指導法III	3前	2								1
	職業指導(工業)I	3前	2								1
	技術科指導法III	3前	2								1
	デジタルアプリケーション演習	3後	2			1	1				
	デザインサイエンスセミナーI	3後	2		5	2	1				
	メカニクス(材料)演習	3後	1		1						
	デザイン思考	3後	2								1
	木材加工	3後	2								1
	海外研修	3後	2			1					
	インターシップ I	3前・後	1		5	2	1				
	インターシップ II	3前・後	1		5	2	1				
	インターシップ III	3前・後	1		5	2	1				
	インターシップ IV	3前・後	1		5	2	1				
	プロジェクトデザイン	3後	2		2						
	デザインと経営	3後	2		1						
	管理会計	3後	2		1						
	マトロニクス	3後	2		1						
	マトロニクス演習	3後	2		1						
	モデリングとシミュレーション	3後	2								1
	マテリアルロベツシング	3後	2		1						
	都市環境デザイン	3後	2								1
	電気回路演習	3後	1			1					
	デジタル生産加工	3後	2								1
	数学科指導法IV	3後	2								1
	職業指導(工業)II	3後	2								1
	技術科指導法IV	3後	2								1
小計(41科目)	—	2	71	0	5	2	1	0	0	11	
400番台科目	幾何学II	4前	2								1
	デザインサイエンスセミナーII	4前	2		5	2	1				
	卒業プロジェクトI	4前	2		5	2	1				
	卒業プロジェクトII	4後	2		5	2	1				
小計(4科目)	—	6	2	0	5	2	1	0	0	1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職関連科目群	教育原理	1前・後	2								1
	教育哲学	1・2・3後	2								1
	教職概論	1前・後	2								1
	教育の制度と経営	1・2前・後	2								1
	教育社会学	1・2・3後	2								1
	学習・発達論	1・2前・後	2								1
	教育心理学	1・2・3後	2								1
	発達心理学	1・2・3後	2								1
	特別支援教育	2・3前・後	1								1
	教育課程編成論	3前・後	2								1
	道德教育の理論と方法	3前・後	2								1
	総合的な学習の時間の理論と方法	1・2前・後	1								1
	特別活動の理論と方法	2・3前・後	1								1
	教育方法・技術論	1・2前・後	1								1
	ICT活用の理論と実践	1・2前・後	1								1
	生徒・進路指導の理論と方法	3前・後	2								1
	教育相談の理論と方法	3前	2								1
	教育実習(中・高)	3前~4前	5			1					
	教育実習(高等学校)	3前~4前	3			1					
	教育実習(副)	4前~後	3								1
	教職実践演習	4後	2			1					
	異文化理解と教育	2・3・4前・後	2								1
	生命と性の教育	2・3・4前	2								1
	精神保健	2・3・4前	2								1
	教職演習 A	3前・4前	1								1
	教職演習 B	4後	1								1
	教育インターンシップ A	1・2・3前・後	2			1					
	教育インターンシップ B	1・2・3前・後	2								1
	教育インターンシップ C	1・2・3前・後	1								1
	教育インターンシップ D	1・2・3前・後	1								1
	日本国憲法	1前・後	2								1
	体育	1・2後	1								1
小計(32 科目)		—	0	59	0	1	0	0	0	0	20
合計(309 科目)		—	31	567	0	5	2	1	0	0	124
卒業要件及び履修方法											
①修業年限を満たすこと ②全科目の修得単位の合計が124単位以上であること ③卒業時における累積GPAが2.00以上であること ④ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み7単位以上を修得していること ⑤ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群・学際科目群から各2単位以上、言語表現科目群のうち、必修選択科目(ELF)から4単位以上を修得し、合計18単位以上を修得していること ⑥デザインサイエンス学科科目のうち、必修科目24単位を含み、62単位以上を修得していること (履修科目の登録の上限:16単位(1学期))											

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職関連科目群	教育原理	1前・後	2								1
	教育哲学	1・2・3後	2								1
	教職概論	1前・後	2								1
	教育の制度と経営	1・2前・後	2								1
	教育社会学	1・2・3後	2								1
	学習・発達論	1・2前・後	2								1
	教育心理学	1・2・3後	2								1
	発達心理学	1・2・3後	2								1
	特別支援教育	2・3前・後	1								1
	教育課程編成論	3前・後	2								1
	道德教育の理論と方法	3前・後	2								1
	総合的な学習の時間の理論と方法	1・2前・後	1								1
	特別活動の理論と方法	2・3前・後	1								1
	教育方法・技術論	1・2前・後	1								1
	ICT活用の理論と実践	1・2前・後	1								1
	生徒・進路指導の理論と方法	3前・後	2								1
	教育相談の理論と方法	3前	2								1
	教育実習(中・高)	3前~4前	5			1					
	教育実習(高等学校)	3前~4前	3			1					
	教育実習(副)	4前~後	3								1
	教職実践演習	4後	2			1					
	異文化理解と教育	2・3・4前・後	2								1
	生命と性の教育	2・3・4前	2								1
	精神保健	2・3・4前	2								1
	教職演習 A	3前・4前	1								1
	教職演習 B	4後	1								1
	教育インターンシップ A	1・2・3前・後	2			1					
	教育インターンシップ B	1・2・3前・後	2								1
	教育インターンシップ C	1・2・3前・後	1								1
	教育インターンシップ D	1・2・3前・後	1								1
	日本国憲法	1前・後	2								1
	体育	1・2後	1								1
小計(32 科目)		—	0	59	0	1	0	0	0	0	20
合計(317 科目)		—	31	580	0	5	2	1	0	0	140
卒業要件及び履修方法											
①修業年限を満たすこと ②全科目の修得単位の合計が124単位以上であること ③卒業時における累積GPAが2.00以上であること ④ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み7単位以上を修得していること ⑤ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群・学際科目群から各2単位以上、言語表現科目群のうち、必修選択科目(ELF)から4単位以上を修得し、合計18単位以上を修得していること ⑥デザインサイエンス学科科目のうち、必修科目24単位を含み、62単位以上を修得していること (履修科目の登録の上限:16単位(1学期))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

<p><ユニバーシティ・スタンダード科目群(US)(全学共通科目)></p> <p>○玉川教育・FYE科目群 「玉川の教育」:教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、担当者が「准教授1、講師1」から「教授1、講師1」に変更 「玉川の行事・式典 A」:カリキュラム改編により科目追加 「玉川の行事・式典 B」:カリキュラム改編により科目追加 「玉川の行事・式典 C」:カリキュラム改編により科目追加</p> <p>○人文科学科目群 「言語心理学」:カリキュラム改編により科目追加</p> <p>○社会科学科目群 「社会科学アカデミックスキルズ(ライティング)」:カリキュラム改編により科目追加 「社会科学アカデミックスキルズ(リーディング)」:カリキュラム改編により科目追加</p> <p>○自然科学科目群 「STEM入門(科学と社会)」:教育内容の充実を図るため、担当者が「兼任・兼任1」から「教授1」に変更</p> <p>○学際科目群 「環境教育ワークショップ I」:カリキュラム改編により科目削除 「プレゼンテーションスキル」:カリキュラム改編により科目追加 「学際アカデミックスキルズ(リーディング)」:カリキュラム改編により科目追加 「環境教育ワークショップ II」:カリキュラム改編により科目削除 「栄養学」:カリキュラム改編により科目追加</p> <p>○言語表現科目群 「ELF Introduction (A)」:教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、担当者が「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更 「ELF & Global Leadership (A)」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更 「ELF Academic Literacy 上級」:教育効果を高めるため、配当年次を「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更</p> <p>○資格関連科目群 「日本語教育概論」:カリキュラム改編により科目追加</p> <p><専門科目群></p> <p>○100番台科目群 「プログラミングI」:受講者数との関係による開講クラス減に伴い、担当者が「准教授1、講師1」から「准教授1」に変更</p>

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
19 科目	290 科目	0 科目	309 科目	19 科目 [±0]	298 科目 [+8]	0 科目 [±0]	317 科目 [+8]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	環境教育ワークショップⅠ	2	1・2・3・4後	一般	選択	US科目(全学共通科目)カリキュラム改編により科目削除(5) (削除2科目 ⇒ 追加10科目)
2	環境教育ワークショップⅡ	2	2・3・4前	一般	選択	US科目(全学共通科目)カリキュラム改編により科目削除(5) (削除2科目 ⇒ 追加10科目)
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目については、US科目(全学共通科目)のカリキュラム改編による。令和5年度新入生からのカリキュラム改編であったため、学生には全く支障は生じていない。(削除2科目 ⇒ 追加10科目)(5)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{309} = \boxed{0.64}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	<共有する他の学校の名称・収容定員・校地面積基準> 玉川学園高等部 795人 13,020㎡ 玉川学園中学部 705人 12,390㎡ 玉川学園小学部 840人 10,980㎡ 玉川学園幼稚園部 140人 1,000㎡		
	校舎敷地	0.00 ㎡	345,867.43 ㎡	0.00 ㎡	345,867.43 ㎡			
	運動場用地	0.00 ㎡	58,264.56 ㎡	0.00 ㎡	58,264.56 ㎡			
	小 計	0.00 ㎡	404,131.99 ㎡	0.00 ㎡	404,131.99 ㎡			
	そ の 他	0.00 ㎡	204,923.58 ㎡	0.00 ㎡	204,923.58 ㎡			
	合 計	0.00 ㎡	609,055.57 ㎡	0.00 ㎡	609,055.57 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎一部解体のため。修学環境に及ぼす影響はない(5)			
	106,538.02 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	106,538.02 ㎡				
	(106,527.02 ㎡)	(0.00 ㎡)	(0.00 ㎡)	(106,527.02 ㎡)				
	(406,538.02 ㎡)	(㎡)	(0.00 ㎡)	(406,538.02 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	既存校舎の用途変更のため。機能は新校舎に移転されており、修学環境に及ぼす影響はない(5)		
	75 76 室	50 室	195 202 室	0 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員新規採用のため(5)		
	デザインサイエンス学科		9 8 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の数 教育の充実のため、図書等を購入。処分・整理を行ったことにより視聴覚資料が減少となっているが、学生への影響はない。(5)
	工学部 デザインサイエンス学科	1,024,000 [311,000]	19,190 [12,460]	10,220 [10,120]	32,400	5,930	12	
		(995,992 [306,671])	(19,152 [12,422])	(10,183 [10,087])	(32,036)	(6,158)	(13)	
		(-994,500 [-306,200])	(-18,200 [-11,520])	(-9,260 [-9,195])	(-32,150)	(-5,930)	(-12)	
	計	1,024,000 [311,000]	19,190 [12,460]	10,220 [10,120]	32,400	5,930	12	
	(995,992 [306,671])	(19,152 [12,422])	(10,183 [10,087])	(32,036)	(6,158)	(13)		
	(-994,500 [-306,200])	(-18,200 [-11,520])	(-9,260 [-9,195])	(-32,150)	(-5,930)	(-12)		
(6) 図 書 館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数	大学全体				
	9,022.42 ㎡	1,040 席	1,301,220 冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4226.96 ㎡	屋内プール	東京都町田市 玉川学園 六丁目 1番1号	昭和47年8月	2,766.30 ㎡			
		弓道場		昭和41年9月	1,314.00 ㎡			
		洋弓場		昭和59年3月	2,053.00 ㎡			
		ゴルフ場		昭和38年4月	4,862.00 ㎡			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書及び設備購入については、大学全体の予算内での調整及び校舎整備に伴う設備整備のため当該学科の予算に変更が生じた。(5)
	教員 1 人当り研究費等	400 千円	400 千円	図書購入費	994 4,447 千円	1,417 4,500 千円	1,500 千円	
	共同研究費等	2,000 千円	2,000 千円	設備購入費	5,304 5,490 千円	18,842 6,000 千円	6,000 千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,928 千円	1,688 千円	1,698 千円	1,708 千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 5 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	玉川大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	4	平均入学定員超過率1.5倍以上の学科数	4	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	4	収容定員充足率1.5倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(10期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
文学部	4	140	-	560	-	1.03	1.03	1.02	1.01	-	昭和24	-						
国語教育学科	4	60	-	240	学士(文学)	1.09	1.09	1.11	1.09	-	平成29	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号						
英語教育学科	4	80	-	320	学士(文学)	0.99	-	0.95	-	-	平成27	同上						
農学部	4	295	-	1,180	-	0.84	-	0.82	-	-	昭和24	-						
生産農学科	4	155	-	620	学士(農学)	0.84	-	0.81	-	令和3	平成29	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号	令和3年度から入学定員変更(165→155)					
環境農学科	4	70	-	280	学士(農学)	0.58	-	0.55	-	-	平成29	同上						
先端食農学科	4	70	-	280	学士(農学)	1.13	-	1.12	1.09	-	平成29	同上						
工学部	4	240	-	960	-	1.05	-	1.11	1.08	-	昭和37	-						
情報通信工学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.12	-	1.14	1.10	-	平成29	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号						
ソフトウェアサイエンス学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.28	-	1.22	1.17	-	平成20	同上						
マネジメントサイエンス学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.15	-	1.10	1.09	-	平成16	同上						
エンジニアリングデザイン学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成27	同上	令和5年度入学生より学生募集停止					
デザインサイエンス学科	4	60	-	240	学士(工学)	0.61	-	0.61	-	-	令和5	同上						
経営学部	4	130	-	520	-	1.07	1.07	1.02	1.01	-	平成13	-						
国際経営学科	4	130	-	520	学士(経営学)	1.07	1.07	1.02	1.01	-	平成13	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号						
教育学部	4	295	-	1,180	-	1.08	-	1.08	1.07	-	平成14	-						
教育学科	4	220	-	880	学士(教育学)	1.07	-	1.08	1.07	令和3	平成14	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号	令和3年度から入学定員変更(240→220)					
乳幼児発達学科	4	75	-	300	学士(教育学)	1.09	-	1.09	-	-	平成15	同上						
芸術学部	4	270	-	1,080	-	0.97	-	0.94	-	-	平成14	-						
音楽学科	4	80	-	320	学士(芸術学)	0.49	-	0.47	-	-	令和3	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号						
アート・デザイン学科	4	100	-	400	学士(芸術学)	1.17	-	1.13	-	-	令和3	同上						
演劇・舞踊学科	4	90	-	360	学士(芸術学)	1.16	-	1.13	-	-	令和3	同上						
パフォーマンス・アーツ学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成14	同上	令和3年度入学生より学生募集停止					
メディア・デザイン学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成26	同上	令和3年度入学生より学生募集停止					
芸術教育学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成26	同上	令和3年度入学生より学生募集停止					
リベラルアーツ学部	4	160	-	640	-	1.09	-	1.09	1.08	-	平成19	-						
リベラルアーツ学科	4	160	-	640	学士(リベラルアーツ)	1.09	-	1.09	1.08	-	平成19	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号						
観光学部	4	120	-	480	-	0.76	-	0.82	-	-	平成25	-						
観光学科	4	120	-	480	学士(観光学)	0.76	-	0.82	-	令和3	平成25	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号	令和3年度から入学定員変更(90→120)					
大学全体	-	1,650	-	6,600	-	-	-	-	-	-	-	-						

教育学部	4	1,500	-	6,000	-	0.02	-	0.34	-	-	平成25	-
教育学部通信教育課程	4	1,500	-	6,000	学士 (教育学)	0.02	-	0.34	-	-	平成25	東京都町田市玉川学園 六丁目1番1号

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部、学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 デザインサイエンス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和5年度】		【令和6年度】		【令和7年度】		【令和8年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	教授 (専任主任)	川森 重弘 <令和5年4月> 博士(工学)	川森 重弘 <令和5年4月> 博士(工学)						
	科学入門※ デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ デザインサイエンス実験 スケッチとドローイング メカニクス(材料) 化学と環境 自然科学実験※ デザインサイエンスセミナーI メカニクス(材料)演習 インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV マテリアルプロセス デザインサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII	科学入門※ デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ デザインサイエンス実験 スケッチとドローイング メカニクス(材料) 化学と環境 自然科学実験※ デザインサイエンスセミナーI メカニクス(材料)演習 インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV マテリアルプロセス デザインサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII							
専任	教授	木村 仁 <令和5年4月> 博士(工学)	木村 仁 <令和5年4月> 博士(工学)						
	デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ プロダクトデザインII デザインサイエンス実験 機構デザイン メカニクス(機械) ドローイング応用 バイオデザイン デザインサイエンスセミナーI インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV メカニクス メカニクス演習 デザインサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII	玉川の教育 STEM入門(科学と社会) デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ プロダクトデザインII デザインサイエンス実験 機構デザイン メカニクス(機械) ドローイング応用 バイオデザイン デザインサイエンスセミナーI インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV メカニクス メカニクス演習 デザインサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII							
専任	教授	黒田 潔 <令和5年4月> 博士(工学)	黒田 潔 <令和5年4月> 博士(工学)						
	物理学入門 科学入門※ デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ 物理学IIA 知財産権の基礎 工学倫理 自然科学実験※ デザインサイエンスセミナーI インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV プロダクトデザイン※ デザインサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII	物理学入門 科学入門※ デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ 物理学IIA 知財産権の基礎 工学倫理 自然科学実験※ デザインサイエンスセミナーI インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV プロダクトデザイン※ デザインサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII							
専任	教授	三林 洋介 <令和5年4月> 博士(工学)	三林 洋介 <令和5年4月> 博士(工学)						
	デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ 管理技法 人間工学 ユニバーサルデザイン 金属加工実習 デザインサイエンスセミナーI インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV プロダクトデザイン※ デザインサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII 教育実習(中・高) 教育実習(高等学校) 就職実践演習 教育インターシッパ A	デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ 管理技法 人間工学 ユニバーサルデザイン 金属加工実習 デザインサイエンスセミナーI インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV プロダクトデザイン※ デザインサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII 教育実習(中・高) 教育実習(高等学校) 就職実践演習 教育インターシッパ A							
専任	教授	山田 義照 <令和5年4月> 博士(経営学)	山田 義照 <令和5年4月> 博士(経営学)						
	デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ 原価計算 起業プランニング デザインサイエンスセミナーI インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV デザインと経営 管理会計 デザインサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII	デザインサイエンス入門(デザイン史を含む)※ 原価計算 起業プランニング デザインサイエンスセミナーI インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV デザインと経営 管理会計 デザインサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII							

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	准教授	齊藤(齊藤) 純 <令和5年4月> 修士(工学)	専	准教授	齊藤(齊藤) 純 <令和5年4月> 修士(工学)									
		デジタル工学入門(デジタル史を含む)※ プログラミング I デジタルアプリケーション入門 デジタルアプリケーション 電気回路基礎 フットボール デジタルアプリケーション演習 デジタルサイエンスセミナーI 海外研修 インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV 電気回路演習 デジタルサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII			デジタル工学入門(デジタル史を含む)※ プログラミング I デジタルアプリケーション入門 デジタルアプリケーション 電気回路基礎 フットボール デジタルアプリケーション演習 デジタルサイエンスセミナーI 海外研修 インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV 電気回路演習 デジタルサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII									
専	准教授	水野 貴敏 <令和5年4月> 博士(工学) 学士(理学)	専	准教授	水野 貴敏 <令和5年4月> 博士(工学) 学士(理学)									
		一年次セミナー 101 一年次セミナー 102 玉川の教育 科学入門※ エネルギー科学 デジタル工学入門(デジタル史を含む)※ 物理学 I 物理学II 20世紀の物理学 自然科学実験※ デジタルサイエンスセミナーI インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV デジタルサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII			一年次セミナー 101 一年次セミナー 102 玉川の教育 科学入門※ エネルギー科学 デジタル工学入門(デジタル史を含む)※ 物理学 I 物理学II 20世紀の物理学 自然科学実験※ デジタルサイエンスセミナーI インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV デジタルサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII									
専	講師	平社 和也 <令和5年4月> 創造技術修士(専門職)	専	講師	平社 和也 <令和5年4月> 創造技術修士(専門職)									
		一年次セミナー 101 一年次セミナー 102 玉川の教育 デジタル工学入門(デジタル史を含む)※ デジタルサイエンス演習(デジタルを含む)※ プログラミングI デジタルサイエンスプログラミング デジタルアプリケーション入門 デジタルサイエンス実験 デジタルアプリケーション 金属加工実習 デジタルアプリケーション演習 デジタルサイエンスセミナーI インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV デジタルサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII			一年次セミナー 101 一年次セミナー 102 玉川の教育 デジタル工学入門(デジタル史を含む)※ デジタルサイエンス演習(デジタルを含む)※ プログラミングI デジタルサイエンスプログラミング デジタルアプリケーション入門 デジタルサイエンス実験 デジタルアプリケーション 金属加工実習 デジタルアプリケーション演習 デジタルサイエンスセミナーI インターシッパI インターシッパII インターシッパIII インターシッパIV デジタルサイエンスセミナーII 卒業プロジェクトI 卒業プロジェクトII									
兼任	教授	浅田 真一 <令和7年4月> 博士(農学)	兼任	教授	浅田 真一 <令和7年4月> 博士(農学)									
		栽培			栽培									
兼任	教授	石田 万由里 <令和5年4月> 博士(経営学)	兼任	教授	石田 万由里 <令和5年4月> 博士(経営学)									
		会計学			会計学									
兼任	教授	今尾 佳生 <令和5年4月> Master of Arts in Education (米国) 文学修士	兼任	教授	今尾 佳生 <令和5年4月> Master of Arts in Education (米国) 文学修士									
		全人教育論 民俗学入門			全人教育論 民俗学入門									
兼任	教授	魚崎(福田) 祐子 <令和5年4月> 博士(人間科学)	兼任	教授	魚崎(福田) 祐子 <令和5年4月> 博士(人間科学)									
		学習・発達論 発達心理学			学習・発達論 発達心理学									
兼任	教授	宇野 慶 <令和6年4月> 修士(史学)	兼任	教授	宇野 慶 <令和6年4月> 修士(史学)									
		博物館資料論 博物館実習			博物館資料論 博物館実習									
兼任	教授	大木 栄一 <令和7年4月> 経営学修士	兼任	教授	大木 栄一 <令和7年4月> 経営学修士									
		キャリア・マネジメント			キャリア・マネジメント									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	教授	大谷 千恵 <令和5年4月> Master of Arts in Education (米国) 修士(文学)	兼任	教授	大谷 千恵 <令和5年4月> Master of Arts in Education (米国) 修士(文学)									
		SAE(海外留学・研修)プログラム A SAE(海外留学・研修)プログラム B SAE(海外留学・研修)プログラム C SAE(海外留学・研修)プログラム D SAE(海外留学・研修)プログラム E SAE(海外留学・研修)プログラム F SAE(海外留学・研修)プログラム G SAE(海外留学・研修)プログラム H SAE(海外留学・研修)プログラム I SAE(海外留学・研修)プログラム J			真文化理解と教育									
兼任	教授	鎌田 伸尚 <令和5年4月> Doctor of Business Administration (スイス)												
		文化人類学												
兼任	教授	川崎 登志喜 <令和5年4月> 体育学修士	兼任	教授	川崎 登志喜 <令和5年4月> 体育学修士									
		生涯スポーツ演習 社会体育論			社会体育論									
兼任	教授	菅野 和郎 <令和6年4月> 修士(歴史学)※	兼任	教授	菅野 和郎 <令和6年4月> 修士(歴史学)※									
		博物館資料保存論			博物館資料保存論									
兼任	教授	北原 博雄 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	教授	北原 博雄 <令和5年4月> 博士(文学)									
		日本語学			日本語学									
兼任	教授	日下 芳朗 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	教授	日下 芳朗 <令和5年4月> 博士(理学)									
		解析学入門 数学入門 代数学入門 解析学1			解析学入門 代数学入門 解析学1									
兼任	教授	工藤 亘 <令和7年4月> 修士(教育学)※	兼任	教授	工藤 亘 <令和7年4月> 修士(教育学)※									
		生徒・進路指導の理論と方法			生徒・進路指導の理論と方法									
兼任	教授	小酒井 正和 <令和5年4月> 博士(経営学)	兼任	教授	小酒井 正和 <令和5年4月> 博士(経営学)									
		自然科学7かマックスバリュ(オーディング) 人工知能と社会			人工知能と社会									
兼任	教授	小林(村上) 直樹 <令和5年4月> 博士(経営学)	兼任	教授	小林(村上) 直樹 <令和5年4月> 博士(経営学)									
		統計学入門			統計学入門									
兼任	教授	坂野 慎二 <令和5年4月> 博士(教育学)												
		教育の制度と経営 教育課程編成論												
兼任	教授	佐久間 裕之 <令和5年4月> 文学修士※	兼任	教授	佐久間 裕之 <令和5年4月> 文学修士※									
		教育原理 教育哲学 教職概論			教育原理									
兼任	教授	笹井 宏益 <令和7年4月> 法学士	兼任	教授	笹井 宏益 <令和7年4月> 法学士									
		三年次セミナー 301 三年次セミナー 302			三年次セミナー 301 三年次セミナー 302 社会教育経営論 B									
兼任	教授	佐藤 健治 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	教授	佐藤 健治 <令和5年4月> 博士(理学)									
		代数学I 解析学II 幾何学I 代数学II 幾何学II			代数学I 解析学II 幾何学I 代数学II 幾何学II									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	教授	佐藤(小島)由紀 <令和5年4月> 博士(学際情報学)	兼任	教授	佐藤(小島)由紀 <令和5年4月> 博士(学際情報学)										
		心理学			心理学										
兼任	教授	朱 浩東 <令和5年4月> 博士(社会学) 教育学修士 歴史学学士	兼任	教授	朱 浩東 <令和5年4月> 博士(社会学) 教育学修士 歴史学学士										
		ことばと文化 中国語 101 中国語 102			ことばと文化 中国語 101 中国語 102										
兼任	教授	高橋(立花)愛 <令和5年4月> 博士(教育学)	兼任	教授	高橋(立花)愛 <令和5年4月>										
		人文科学7アドバンススキルズ(ライティング)			プレゼンテーションスキル										
兼任	教授	高平 小百合 <令和5年4月> Ph.D. in Human Development (米国)	兼任	教授	高平 小百合 <令和5年4月> Ph.D. in Human Development (米国)										
		教育心理学			教育心理学										
兼任	教授	谷 和樹 <令和7年4月> 修士(学校教育学)	兼任	教授	谷 和樹 <令和7年4月> 修士(学校教育学)										
		現代社会の教育課題			現代社会の教育課題										
兼任	教授	田畑 忍 <令和5年4月> 博士(工学) 修士(教育学)	兼任	教授	田畑 忍 <令和5年4月> 博士(工学) 修士(教育学)										
		教育方法・技術論 ICT活用の理論と実践			教育方法・技術論 ICT活用の理論と実践										
兼任	教授	富田 信一 <令和5年4月> 博士(農学)	兼任	教授	富田 信一 <令和5年4月> 博士(農学)										
		化学入門			化学入門										
兼任	教授	TRELFA Douglas Arthur <令和5年4月> Ph.D. in Sociology(米国)	兼任	教授	TRELFA Douglas Arthur <令和5年4月> Ph.D. in Sociology(米国)										
		比較文化論			比較文化論										
兼任	教授	永井 悦子 <令和5年4月> 博士(学術) 修士(教育学)	兼任	教授	永井 悦子 <令和5年4月> 博士(学術) 修士(教育学)										
		地域創生プロジェクト A 地域創生プロジェクト B 地域創生プロジェクト C 地域創生プロジェクト D 地域創生プロジェクト E 地域創生プロジェクト F フィールドワーク A フィールドワーク B フィールドワーク C Japan Studies Overseas A Japan Studies Overseas B Japan Studies Overseas C			地域創生プロジェクト A 地域創生プロジェクト B 地域創生プロジェクト C 地域創生プロジェクト D 地域創生プロジェクト E 地域創生プロジェクト F Japan Studies Overseas A Japan Studies Overseas B Japan Studies Overseas C										
兼任	教授	中嶋(福嶋) 真美 <令和5年4月> 博士(農学) 修士(国際協力学) 修士(アメリカ研究)													
		社会学													
兼任	教授	中村 香 <令和5年4月> 博士(学術) Master of Arts(英国) 学士(教養)	兼任	教授	中村 香 <令和5年4月> 博士(学術) Master of Arts(英国) 学士(教養)										
		ホフステイの概論 生涯学習概論 社会教育課題研究 社会教育実習			ホフステイの概論 生涯学習概論 社会教育課題研究 社会教育実習										
兼任	教授	中山 剛史 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	教授	中山 剛史 <令和5年4月> 博士(文学)										
		ロジック			ロジック										

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	教授	成川 康男 <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	教授	成川 康男 <令和6年4月> 博士(理学)									
		数学科指導法I 確率統計学II 数学科指導法II 数学科指導法III 数学科指導法IV			数学科指導法I 確率統計学II 数学科指導法II 数学科指導法III 数学科指導法IV									
兼任	教授	庭野 裕恵(裕恵) <令和7年4月> 博士(医学)	兼任	教授	庭野 裕恵(裕恵) <令和7年4月> 博士(医学)									
		病理学			病理学									
兼任	教授	馬場 眞二 <令和5年4月> 修士(音楽)	兼任	教授	馬場 眞二 <令和5年4月> 修士(音楽)									
		音楽 I 音楽 II			音楽 I 音楽 II									
兼任	教授	原田 眞理 <令和6年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	原田 眞理 <令和6年4月> 博士(保健学)									
		教育相談の理論と方法 精神保健			教育相談の理論と方法 精神保健									
兼任	教授	富士池 優美 <令和5年4月> 修士(文学)※	兼任	教授	富士池 優美 <令和5年4月> 修士(文学)※									
		データ処理			データ処理									
兼任	教授	松田 哲也 <令和5年4月> 博士(医学) 修士(工学) 学士(文学)	兼任	教授	松田 哲也 <令和5年4月> 博士(医学) 修士(工学) 学士(文学)									
		マカ脳科学			マカ脳科学									
兼任	教授	宮田 成紀 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	宮田 成紀 <令和5年4月> 博士(工学)									
		物理学入門 実践の物理学 デザインサイエンス演習(デッサンを含む)※			物理学入門 実践の物理学 デザインサイエンス演習(デッサンを含む)※									
兼任	教授	村山 にな <令和5年4月> Ph.D.in Art History(米国) 工学士	兼任	教授	村山 にな <令和5年4月> Ph.D.in Art History(米国) 工学士									
		美術史 博物館概論 博物館教育論			美術史 博物館概論 博物館教育論									
兼任	教授	山口 圭介 <令和7年4月> 修士(文学)※	兼任	教授	山口 圭介 <令和7年4月> 修士(文学)※									
		道德教育の理論と方法			教育哲学 道德教育の理論と方法									
兼任	教授	山崎 浩一 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	山崎 浩一 <令和5年4月> 博士(工学)									
		情報倫理と社会 デジタルリテラシー			デジタルリテラシー									
兼任	教授	LIA Steve <令和6年4月> Master of Applied Linguistics(TESOL) (オーストラリア)	兼任	教授	LIA Steve <令和6年4月> Master of Applied Linguistics(TESOL) (オーストラリア)									
		Issues in Japanese Studies A Issues in Japanese Studies B Academic Communication Presentation Skills in English			Issues in Japanese Studies A Issues in Japanese Studies B Academic Communication Presentation Skills in English									
兼任	准教授	有原探 ジェラード <令和5年4月> 修士(教育学)※	兼任	准教授	有原探 ジェラード <令和5年4月> 修士(教育学)※									
		哲学			哲学									
兼任	准教授	市川 直子 <令和5年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	市川 直子 <令和5年4月> 博士(農学)									
		科学入門※ 名著講読(自然科学)			科学入門※									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	岡田 トリシヤ (OKADA Tricia salazar) <令和5年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	岡田 トリシヤ (OKADA Tricia salazar) <令和5年4月> 博士(学術)						
		ELF Introduction (A) ELF Introduction (B) ELF Introduction (C) ELF Foundation (A) ELF Foundation (B) ELF Foundation (C)			ELF Communication for Teachers						
兼任	准教授	川本 和孝 <令和5年4月> 修士(教育学) Master of Science(米国) 学士(文学)	兼任	准教授	川本 和孝 <令和5年4月> 修士(教育学) Master of Science(米国) 学士(文学)						
		TAP7アプリケーション II 生涯学習支援論 B 特別活動の理論と方法			TAP7アプリケーション II 生涯学習支援論 B 特別活動の理論と方法						
兼任	准教授	木内 正光 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	木内 正光 <令和5年4月> 博士(工学)						
		経営学			経営学						
兼任	准教授	黒嶋(宮崎) 智美 <令和5年4月> Ph.D. in Applied Linguistics(米国)	兼任	准教授	黒嶋(宮崎) 智美 <令和5年4月> Ph.D. in Applied Linguistics(米国)						
		ELF & Global Communication (A) ELF & Global Communication (B) ELF Academic Literacy 中級 ELF & Global Leadership (A) ELF & Global Leadership (B) ELF Academic Literacy 上級			ELF Introduction (A) ELF Introduction (C) ELF & Global Communication (B) ELF & Global Leadership (A) ELF & Global Leadership (B) ELF Academic Literacy 上級						
兼任	准教授	GOTTARDO Marco <令和5年4月> Ph.D.(米国) M.Phil.(米国)	兼任	准教授	GOTTARDO Marco <令和5年4月> Ph.D.(米国) M.Phil.(米国)						
		宗教学 世界の宗教と文化 Japanology 現代文化論			宗教学 世界の宗教と文化 Japanology 学際リテラシー(ラーニング) 現代文化論						
兼任	准教授	今野 哲也 <令和5年4月> 博士(音楽) 経済学士	兼任	准教授	今野 哲也 <令和5年4月> 博士(音楽) 経済学士						
		音楽史			音楽史						
兼任	准教授	佐治 量哉 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	教授	佐治 量哉 <令和5年4月> 博士(工学)						
		認知脳科学			認知脳科学						
兼任	准教授	佐藤 雅俊 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	佐藤 雅俊 <令和5年4月> 博士(工学)						
		情報科学入門			情報科学入門						
兼任	准教授	下村 恭広 <令和5年4月> 修士(文学)※	兼任	准教授	下村 恭広 <令和5年4月> 修士(文学)※						
		二年次セミナー 201 二年次セミナー 202 インターシップ A インターシップ B インターシップ C インターシップ D			二年次セミナー 201 二年次セミナー 202						
兼任	准教授	鈴木 淳也 <令和5年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	鈴木 淳也 <令和5年4月> 修士(教育学)						
		健康教育 体育			体育						
兼任	准教授	高城 宏行 <令和5年4月> Ph.D. in Education(英国)	兼任	准教授	高城 宏行 <令和5年4月> Ph.D. in Education(英国)						
		海外留学入門 国際研究 A 国際研究 B 国際研究 C 国際研究 D 国際研究 E 国際研究 F			コミュニケーション論 海外留学入門 国際研究 A 国際研究 B 国際研究 C 国際研究 D 国際研究 E 国際研究 F						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	立野 貴之 <令和5年4月> 博士(工学) 修士(経済学) 学士(外国文化)									
		マルチメディア表現									
兼任	准教授	田中 素子 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(カナダ)	兼任	教授	田中 素子 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(カナダ)						
		日本学入門 Japanese Pop Culture			日本学入門 Japanese Pop Culture						
兼任	准教授	谷脇 茂樹 <令和5年4月> 修士(経済学)	兼任	准教授	谷脇 茂樹 <令和5年4月> 修士(経済学)						
		観光学入門			観光学入門						
兼任	准教授	多和田 真太良 <令和5年4月> 博士(表象文化学)	兼任	准教授	多和田 真太良 <令和5年4月> 博士(表象文化学)						
		演劇史			演劇史						
兼任	准教授	CHAIKUL Rasami <令和5年4月> M.Ed. TEFL(タイ)	兼任	准教授	CHAIKUL Rasami <令和5年4月> M.Ed. TEFL(タイ)						
		ELF Introduction (A) ELF Introduction (B) ELF Introduction (C) ELF Foundation (A) ELF Foundation (B) ELF Foundation (C)			ELF Introduction (A) BELF 初級 ELF Foundation (A)						
兼任	准教授	DIMOSKI Blagoja <令和5年4月> Master of Arts in Applied Linguistics(オーストラリア)	兼任	准教授	DIMOSKI Blagoja <令和5年4月> Master of Arts in Applied Linguistics(オーストラリア)						
		ELF Communication for Teachers			ELF Foundation (A)						
兼任	准教授	萩原 哉 <令和6年4月> 修士(歴史学)※	兼任	准教授	萩原 哉 <令和6年4月> 修士(歴史学)※						
		博物館経営論 博物館展示論			博物館経営論 博物館展示論						
兼任	准教授	長谷川 英伸 <令和6年4月> 博士(経営学)	兼任	教授	長谷川 英伸 <令和6年4月> 博士(経営学)						
		コア・プログラム			コア・プログラム						
兼任	准教授	早川 博章 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	早川 博章 <令和5年4月> 博士(工学)						
		STEM入門(科学と社会) データサイエンスI			データサイエンスI						
兼任	准教授	松山 巖 <令和5年4月> 教育学修士※	兼任	准教授	松山 巖 <令和5年4月> 教育学修士※						
		学校図書館メディアの構成 児童サービス論 図書・図書館史 図書館概論 図書館サービス概論 図書館施設論 図書館情報技術論 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論 図書館制度・経営論 情報資源組織演習 A 情報資源組織演習 B 情報資源組織演習 C 情報資源組織論 情報サービス演習 A 情報サービス演習 B 情報サービス演習 C			学校図書館メディアの構成 児童サービス論 図書・図書館史 図書館概論 図書館サービス概論 図書館施設論 図書館情報技術論 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論 図書館制度・経営論 情報資源組織演習 A 情報資源組織演習 B 情報資源組織演習 C 情報資源組織論 情報サービス演習 A 情報サービス演習 B 情報サービス演習 C						
兼任	准教授	宮崎 真由 <令和5年4月> 修士(学術)※ 修士(法学)	兼任	准教授	宮崎 真由 <令和5年4月> 修士(学術)※ 修士(法学)						
		市民社会と法 日本語表現 101 日本語表現 102			市民社会と法 日本語表現 101						
兼任	准教授	武藤 ゆみこ <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	武藤 ゆみこ <令和6年4月> 博士(理学)						
		数理・データサイエンス・AIリテラシー			数理・データサイエンス・AIリテラシー						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	村井 伸二 <令和5年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	村井 伸二 <令和5年4月> 修士(教育学)									
		ヒアラー TAPファシリテーション I 野外教育 生涯学習と生涯教育 社会教育経営論 A 社会教育経営論 B			ヒアラー TAPファシリテーション I フィールドワーク A フィールドワーク B フィールドワーク C 野外教育 生涯学習と生涯教育 社会教育経営論 A									
兼任	准教授	山田 深雪 <令和8年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	山田 深雪 <令和8年4月> 修士(教育学) 博士(教育学)									
		教育実習(副)			教育実習(副) 教育インターシップ B 教育インターシップ C 教育インターシップ D									
兼任	准教授	YOJOBO YURI JODY (祐乗坊 由利) <令和5年4月> Master of Education(米国)	兼任	准教授	YOJOBO YURI JODY (祐乗坊 由利) <令和5年4月> Master of Education(米国)									
		BELF 初級 BELF 初中級 BELF 中級 BELF 上級			BELF 初中級 BELF 中級 BELF 上級									
兼任	准教授	ANDREW ROBERT IAN LEICHSENRING (LEICHSENRING ANDREW ROBERT IAN) <令和5年4月> Doctor of Philosophy(オーストラリア)	兼任	准教授	ANDREW ROBERT IAN LEICHSENRING (LEICHSENRING ANDREW ROBERT IAN) <令和5年4月> Doctor of Philosophy(オーストラリア)									
		BELF 初級 BELF 初中級			ELF Introduction (A) BELF 初級 BELF 初中級									
兼任	講師	朝山 芳弘 <令和6年4月> 博士(学術) 学士(理学)	兼任	講師	朝山 芳弘 <令和6年4月> 博士(学術) 学士(理学)									
		確率統計学I			確率統計学I									
兼任	講師	油川(金子) さゆり <令和5年4月> 修士(教育学)												
		コミュニケーション論												
兼任	講師	岡田 直丈 <令和5年4月> 修士(組織神学)※	兼任	講師	岡田 直丈 <令和5年4月> 修士(組織神学)※									
		初歩数学			初歩数学									
兼任	講師	尾関 はゆみ <令和6年4月> 修士(英語教育)	兼任	講師	尾関 はゆみ <令和6年4月> 修士(英語教育)									
		名著講読(人文科学) 名著講読(社会科学) 異文化理解と教育			名著講読(人文科学) 名著講読(社会科学)									
兼任	講師	佐々木 弘志 <令和6年4月> 修士(社会学) 学士(経済学)	兼任	講師	佐々木 弘志 <令和6年4月> 修士(社会学) 学士(経済学)									
		国際関係論			国際関係論									
兼任	講師	武内(板尾) 麻美 <令和5年4月> 修士(教育学)												
		健康スポーツ理論 スポーツ史												
兼任	講師	寺田 佐恵子 <令和5年4月> 博士(理学) 修士(農学)	兼任	講師	寺田 佐恵子 <令和5年4月> 博士(理学) 修士(農学)									
		生物学入門			生物学入門									
兼任	講師	中田 知宏 <令和5年4月> 博士(芸術学)	兼任	講師	中田 知宏 <令和5年4月> 博士(芸術学)									
		人文科学アಭિशास्त्र(0-デベロ)			人文科学アभिशान्त्र(0-डेवेलप)									
兼任	講師	水地 良明 <令和5年4月> 博士(工学)	兼任	講師	水地 良明 <令和5年4月> 博士(工学)									
		自然科学アभिशान्त्र(0-डेवेलप) 複合領域研究 201~299			複合領域研究 201~299									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	山田(ハリカラキス) 亜紀 <令和7年4月> Ph.D.in Education(米国) 修士(アメリカ研究) Modern Japanese History	兼任	講師	山田(ハリカラキス) 亜紀 <令和7年4月> Ph.D.in Education(米国) 修士(アメリカ研究) Modern Japanese History						
兼任	講師	山田 徹志 <令和5年4月> 博士(工学) 修士(教育学) 教育インターシッパ B 教育インターシッパ C 教育インターシッパ D	兼任	講師	山田 徹志 <令和5年4月> 博士(工学) 修士(教育学) 名著講義(自然科学) インターシッパ A インターシッパ B インターシッパ C インターシッパ D						
			兼任	教授	槻川(須田) 祥世 <令和5年4月> 博士(学術) 言語心理学						
			兼任	教授	COTE Travis <令和5年4月> 英語教授法(TESOL) 修士(米) ELF Foundation (B) ELF & Global Communication (A) ELF Academic Literacy 中級						
			兼任	教授	杉山 倫也 <令和5年4月> 修士(文学)※ 教職振替						
			兼任	教授	中村 哲 <令和5年4月> 修士(観光学) SAE海外留学・研修プログラム A SAE海外留学・研修プログラム B SAE海外留学・研修プログラム C SAE海外留学・研修プログラム D SAE海外留学・研修プログラム E SAE海外留学・研修プログラム F SAE海外留学・研修プログラム G SAE海外留学・研修プログラム H SAE海外留学・研修プログラム I SAE海外留学・研修プログラム J						
			兼任	教授	野本 由紀夫 <令和5年4月> 芸術学修士 人文科学プログラム(ライティング)						
			兼任	教授	山田 信幸 <令和5年4月> 教育学修士 健康教育						
			兼任	教授	湯藤 定崇 <令和5年4月> 修士(教育学) 教育の制度と経営 教育課程編成論						
			兼任	教授	渡辺 明子 <令和5年4月> 芸術学修士 玉川の行事・式典A 玉川の行事・式典B 玉川の行事・式典C						
			兼任	准教授	小島(宮崎) 佐恵子 <令和5年4月> 修士(文学)※ 社会科学プログラム(ライティング) 社会科学プログラム(ライティング)						
			兼任	准教授	成川 敦子 <令和5年4月> 博士(教育学) 特別支援教育						
			兼任	准教授	船戸 はるな <令和5年4月> 博士(人文科学) 日本語教育概論						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
			兼任	准教授	MATIKAINEN Johanna Tiina <令和5年4月> Doctor of Education(Ed.D) (米国)						
					ELF Foundation (B) ELF Foundation (C)						
			兼任	講師	KIM Miso <令和5年4月> Doctor of Philosophy in Applied Linguistics(米)						
					ELF Introduction (B) ELF Introduction (C)						
			兼任	講師	中村 幸子 <令和5年4月> Ph.D.(Applied Linguistics) (タイ)						
					ELF Introduction (B)						
			兼任	講師	三橋 綾子 <令和5年4月> 修士(文学)						
					生語スプレッドシート						
兼任	講師	浅尾 慶一郎 <令和5年4月> Master of Business Administration 法学士	兼任	講師	浅尾 慶一郎 <令和5年4月> Master of Business 法学士						
		政治学(国際政治を含む) ポリテクカル・サイエンス			政治学(国際政治を含む)						
兼任	講師	飯田 隆一 <令和7年4月> 博士(学術) 学士(教育学)			飯田 隆一 <令和7年4月> 博士(学術) 学士(教育学)						
		木材加工			木材加工						
兼任	講師	上岡 真紀子 <令和5年4月> 修士(図書館・情報学)※ 文学士	兼任	講師	上岡 真紀子 <令和5年4月> 修士(図書館・情報学)※ 文学士						
		情報サービス論			情報サービス論 情報サービス演習 A						
兼任	講師	江藤 圭也 <令和5年4月> 修士(経済学)※	兼任	講師	江藤 圭也 <令和5年4月> 修士(経済学)※						
		経済学(国際経済を含む)			経済学(国際経済を含む)						
兼任	講師	大内(赤木) 啓子 <令和6年4月> 工学修士	兼任	講師	大内(赤木) 啓子 <令和6年4月> 工学修士						
		色彩デザイン学			色彩デザイン学						
兼任	講師	大久保 悠貴 <令和5年4月> 修士(法学)※	兼任	講師	大久保 悠貴 <令和5年4月> 修士(法学)※						
		日本国憲法			日本国憲法						
兼任	講師	大崎 恒次 <令和5年4月> 博士(経営学)	兼任	講師	大崎 恒次 <令和5年4月> 博士(経営学)						
		マーケティング			マーケティング						
兼任	講師	大嶋 一夫 <令和7年4月> 理学士	兼任	講師	大嶋 一夫 <令和7年4月> 理学士						
		教職演習 A			教職演習 A						
兼任	講師	大橋 陸弘 <令和7年4月> 博士(工学)	兼任	講師	大橋 陸弘 <令和7年4月> 博士(工学)						
		モデリングとシミュレーション デジタル生産加工			モデリングとシミュレーション デジタル生産加工						
兼任	講師	川崎 敏治 <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	講師	川崎 敏治 <令和6年4月> 博士(理学)						
		微分方程式I			微分方程式I						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	木内 真人 <令和6年4月> 博士(理学) 学士(工学)					
		宇宙科学 地球科学					
兼任	講師	北岡 タマ子 <令和6年4月> 修士(コミュニティ振興学) 学士(教養)	兼任 講師	北岡 タマ子 <令和6年4月> 修士(コミュニティ振興学) 学士(教養)			
		博物館情報・メディア論		博物館情報・メディア論			
兼任	講師	草本 海部 <令和5年4月> 博士(造形)	兼任 講師	草本 海部 <令和5年4月> 博士(造形)			
		デザイン・イラスト入門(デザイン史を含む)※		デザイン・イラスト入門(デザイン史を含む)※			
兼任	講師	後藤 博史 <令和6年4月> 工学士	兼任 講師	後藤 博史 <令和6年4月> 工学士			
		工業科指導法I 工業科指導法II		工業科指導法I 工業科指導法II			
兼任	講師	小沼 明生 <令和5年4月> 博士(史学)	兼任 講師	小沼 明生 <令和5年4月> 博士(史学)			
		歴史(世界)		歴史(世界) 自然科学7分野(サイエンス)(9-12レベル) 自然科学7分野(サイエンス)(9-12レベル)			
兼任	講師	小林 正幸 <令和5年4月> 修士(社会学)※ 学士(哲学)	兼任 講師	小林 正幸 <令和5年4月> 修士(社会学)※ 学士(哲学)			
		メディアと社会		社会学 メディアと社会			
兼任	講師	佐藤 修 <令和6年4月> 工学士	兼任 講師	佐藤 修 <令和6年4月> 工学士			
		技術科指導法I 技術科指導法II 技術科指導法III 技術科指導法IV		技術科指導法I 技術科指導法II 技術科指導法III 技術科指導法IV			
兼任	講師	杉崎 えり子 <令和5年4月> 博士(工学)					
		ネットワーク入門					
兼任	講師	杉本 ゆか <令和5年4月> 修士(文学)					
		学校経営と学校図書館 読書と豊かな人間性 学習指導と学校図書館					
兼任	講師	角 茂樹 <令和8年4月> Diploma for Social Studies(英国) East Asian History	兼任 講師	角 茂樹 <令和8年4月> Diploma for Social Studies(英国) East Asian History			
兼任	講師	谷田 多賀代 <令和5年4月> 文学修士※	兼任 講師	谷田 多賀代 <令和5年4月> 文学修士※			
		外国文学		外国文学			
兼任	講師	谷村 英洋 <令和5年4月> 修士(教育学)※	兼任 講師	谷村 英洋 <令和5年4月> 修士(教育学)※			
		教育社会学		教育社会学			
兼任	講師	田原(増田) 加奈子 <令和5年4月> 修士(文学)	兼任 講師	田原(増田) 加奈子 <令和5年4月> 修士(文学) 博士(文学)			
		日本文学		日本文学			
兼任	講師	千葉 吉裕 <令和7年4月> 理学修士	兼任 講師	千葉 吉裕 <令和7年4月> 理学修士			
		職業指導(工業)I 職業指導(工業)II		職業指導(工業)I 職業指導(工業)II			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	常岡(倉橋) 亜希子 <令和5年4月> M.A. in TESOL(米国)	兼任	講師	常岡(倉橋) 亜希子 <令和5年4月> M.A. in TESOL(米国)									
		英語学			英語学									
兼任	講師	富澤(島田) 美千子 <令和5年4月> 博士(文学) 修士(人間科学)	兼任	講師	富澤(島田) 美千子 <令和5年4月> 博士(文学) 修士(人間科学)									
		総合的な学習の時間の理論と方法			総合的な学習の時間の理論と方法									
兼任	講師	長江 清和 <令和6年4月> 修士(教育学)												
		特別支援教育												
兼任	講師	長尾 幸治 <令和5年4月> 博士(美術)	兼任	講師	長尾 幸治 <令和5年4月> 博士(美術)									
		デザイン・イン・ダンス(デザインを含む)※			デザイン・イン・ダンス(デザインを含む)※									
兼任	講師	中里 亮平 <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	講師	中里 亮平 <令和5年4月> 博士(文学)									
		歴史(日本)			文化人類学 歴史(日本)									
兼任	講師	浜本 滋 <令和7年4月> 博士(工学)	兼任	講師	浜本 滋 <令和7年4月> 博士(工学)									
		フラクタル(流体)			フラクタル(流体)									
兼任	講師	藤谷 哲 <令和8年4月> 博士(工学)	兼任	教授	藤谷 哲 <令和8年4月> 博士(工学)									
		教職演習 B			教職演習 B									
兼任	講師	古性(江連) 淑子 <令和5年4月> 修士(情報科学) 修士(大学アドミニストレーション)	兼任	講師	古性(江連) 淑子 <令和5年4月> 修士(情報科学) 修士(大学アドミニストレーション)									
		情報メディアの活用			情報メディアの活用									
兼任	講師	宮澤 義臣 <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	宮澤 義臣 <令和5年4月> 文学修士									
		ドイツ語 101 ドイツ語 102			ドイツ語 101 ドイツ語 102									
兼任	講師	宮永 望 <令和5年4月> 修士(理学)※	兼任	講師	宮永 望 <令和5年4月> 修士(理学)※									
		数学演習			数学入門 数学演習									
兼任	講師	目黒(花川) ゆりえ <令和5年4月> 修士(フランス文学)	兼任	講師	目黒(花川) ゆりえ <令和5年4月> 修士(フランス文学)									
		フランス語 101 フランス語 102			フランス語 101 フランス語 102									
兼任	講師	茂木 輝順 <令和6年4月> 博士(保健学) 修士(教育学)	兼任	講師	茂木 輝順 <令和6年4月> 博士(保健学) 修士(教育学)									
		生命と性の教育			生命と性の教育									
兼任	講師	矢ヶ崎 朋樹 <令和5年4月> 博士(環境学)	兼任	講師	矢ヶ崎 朋樹 <令和5年4月> 博士(環境学)									
		環境科学 環境教育ワークショップ I 環境教育ワークショップ II			環境科学									
兼任	講師	山科 直子 <令和6年4月> Doctor in Philosophy(英国)	兼任	講師	山科 直子 <令和6年4月> Doctor in Philosophy(英国)									
		科学史 科学技術社会論			科学史 科学技術社会論									
兼任	講師	山本 靖樹 <令和7年4月> 経済学士	兼任	講師	山本 靖樹 <令和7年4月> 経済学士									
		都市環境デザイン			都市環境デザイン									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	講師	吉武 光雄 <令和5年4月> 修士(哲学)※	兼任	講師	吉武 光雄 <令和5年4月> 修士(哲学)※						
	倫理学			倫理学							
兼任	講師	吉見 江利 <令和6年4月> 修士(人文科学)	兼任	講師	吉見 江利 <令和6年4月> 修士(人文科学)						
	生涯学習支援論 A			生涯学習支援論 A							
兼任	講師	米田 充彦 <令和7年4月> 高等専門学校卒	兼任	講師	米田 充彦 <令和7年4月> 高等専門学校卒						
	デザイン思考			デザイン思考							
			兼任	講師	江原 清浩 <令和5年4月> 修士(体育科学)						
				健康スポーツ理論							
			兼任	講師	関元 太郎 <令和5年4月> 博士(理学)						
				地球科学							
			兼任	講師	金 幸都 <令和5年4月> 博士(工学)						
				情報倫理と社会							
			兼任	講師	古泉 佳代 <令和5年4月> 博士(教育学)						
				栄養学							
			兼任	講師	近 裕一 <令和5年4月> 政治学修士						
				キャリア開発サイエンス							
			兼任	講師	白勢(浦達) 美咲 <令和5年4月> 修士(教育学)(米) Post-Master's Advanced Certificate Program in TESOL(米)						
				ELF Foundation (C)							
			兼任	講師	鈴木 秀順 <令和5年4月> 修士(経営学)						
				マルチメディア表現							
			兼任	講師	高柳 克弘 <令和5年4月> 修士(文学)						
				日本語表現 102							
			兼任	講師	田中(小野寺) 俊介 <令和5年4月> 修士(工学)						
				ネットワーク入門							
			兼任	講師	目黒 拓也 <令和5年4月> 博士(文学)						
				スポーツ史							
			兼任	講師	吉川 真 <令和5年4月> 理学博士						
				宇宙科学							

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				
			兼任 講師 吉澤 小百合 <令和5年4月> 修士(図書館・情報学)			
			学校経営と学校図書館 読書と豊かな人間性 学習指導と学校図書館			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

<専任教員>

- 木村 仁(教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の教育」の担当者を水野 貴敏(准教授)から変更
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「STEM入門(科学と社会)」の担当者を早川博章(兼任准教授)から変更
- 水野 貴敏(准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の教育」の担当者を木村 仁(教授)に変更
- 平社 和也(講師)
- ・受講者数との関係による開講クラス減に伴い、100番台科目「プログラミングI」を担当科目から削除

<兼任教員>

- 大谷千恵(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムA)」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムB)」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムC)」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムD)」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムE)」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムF)」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムG)」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムH)」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムI)」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムJ)」の担当者を中村 哲(兼任教授)に変更
- ・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「異文化理解と教育」の担当者を尾関 はゆみ(兼任講師)から変更
- 鎌田 伸尚(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)人文科学科目群「文化人類学」の担当者を中里 亮平(兼任講師)に変更
- 川崎 登志喜(兼任教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「生涯スポーツ演習」の担当者を三橋 綾子(兼任講師)に変更
- 目下 芳朗(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「数学入門」の担当者を宮永 望(兼任講師)に変更
- 小酒井 正和(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「自然科学アカデミックスキルズ(リーディング)」の担当者を小沼 明生(兼任講師)に変更
- 坂野 慎二(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教育の制度と経営」の担当者を湯藤 定宗(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教育課程編成論」の担当者を湯藤 定宗(兼任教授)に変更
- 佐久間 裕之(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教育哲学」の担当者を山口 圭介(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教職概論」の担当者を杉山 倫也(兼任教授)に変更
- 笹井 宏益(兼任教授)
- ・教育内容の充実を図るため、資格関連科目群「社会教育経営論B」の担当者を村井 伸二(兼任准教授)から変更
- 高橋(立花) 愛(兼任教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)人文科学科目群「人文科学アカデミックスキルズ(ライティング)」の担当者を野本 由紀夫(兼任教授)に変更
- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群「プレゼンテーションスキル」の担当者として追加
- 永井 悦子(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワークA」の担当者を村井 伸二(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワークB」の担当者を村井 伸二(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワークC」の担当者を村井 伸二(兼任准教授)に変更
- 中嶋(福嶋) 真美(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「社会学」の担当者を小林 正幸(兼任講師)に変更
- 山口 圭介(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教育哲学」の担当者を佐久間 裕之(兼任教授)から変更
- 山崎 浩一(兼任教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「情報倫理と社会」の担当者を金 幸郁(兼任講師)に変更
- 市川 直子(兼任准教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「名著講読(自然科学)」の担当者を山田 徹志(兼任講師)に変更
- 岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (A)」の担当者を黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (B)」の担当者を中村 幸子(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (C)」の担当者を黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Communication for Teachers」の担当者をDIMOSKI Blagoja(兼任准教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (A)」の担当者をDIMOSKI Blagoja(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (B)」の担当者をMATIKAINEN Johanna Tiina(兼任准教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (C)」の担当者をMATIKAINEN Johanna Tiina(兼任准教授)に変更
- 黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (A)」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (C)」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF & Global Communication (A)」の担当者をCOTE Travis(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Academic Literacy 中級」の担当者をCOTE Travis(兼任教授)に変更
- GOTTARDO Marco(兼任准教授)
- ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、担当科目にUS科目(全学共通科目)学際科目群「学際アカデミックスキルズ(リーディング)」を追加
- 下村 恭広(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターシップA」の担当者を山田 徹志(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターシップB」の担当者を山田 徹志(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターシップC」の担当者を山田 徹志(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターシップD」の担当者を山田 徹志(兼任講師)に変更
- 鈴木 淳也(兼任准教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「健康教育」の担当者を山田 信幸(兼任教授)に変更
- 立野 貴之(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「マルチメディア表現」の担当者を鈴木 秀頭(兼任講師)に変更
- 高城 宏行(兼任准教授)
- ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「コミュニケーション論」の担当者を油川(金子) さゆり(兼任講師)から変更
- CHAIKUL Rasami(兼任准教授)
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (B)」の担当者をKIM Miso(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (C)」の担当者をKIM Miso(兼任講師)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「BELF初級」の担当者をYOJOBO YURI JODY(祐桑坊 由利)(兼任准教授)から変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (B)」の担当者をCOTE Travis(兼任教授)に変更
- ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (C)」の担当者を白勢(浦邊) 美咲(兼任講師)に変更

○DIMOSKI Blagoja(兼任准教授)

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Communication for Teachers」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)に変更

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (A)」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)から変更

○早川 博章(兼任准教授)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「STEM入門(科学と社会)」の担当者を木村 仁(教授)に変更

○松山 巖(兼任准教授)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「情報サービス演習A」の担当者を上岡 真紀子(兼任講師)に変更

○宮崎 真由(兼任准教授)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「日本語表現102」の担当者を高柳 克弘(兼任講師)に変更

○村井 伸二(兼任准教授)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワークA」の担当者を永井 悦子(兼任教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワークB」の担当者を永井 悦子(兼任教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「フィールドワークC」の担当者を永井 悦子(兼任教授)から変更

・教育内容の充実を図るため、資格関連科目群「社会教育経営論B」の担当者を笹井 宏益(兼任教授)に変更

○山田 深雪(兼任准教授)

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターシップB」の担当者を山田 徹志(兼任講師)から変更

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターシップC」の担当者を山田 徹志(兼任講師)から変更

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターシップD」の担当者を山田 徹志(兼任講師)から変更

○YOJOB0 YURI JODY(祐乘坊 由利)(兼任准教授)

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「BELF初級」の担当者をCHAIKUL Rasami(兼任准教授)に変更

○LEICHSENRING ANDREW ROBERT IAN(兼任准教授)

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (A)」の担当者として追加

○油川(金子) さゆり(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「コミュニケーション論」の担当者を高城 宏行(兼任准教授)に変更

○尾関 はゆみ(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「異文化理解と教育」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)に変更

○武内(坂尾) 麻美(兼任講師)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「健康スポーツ理論」の担当者を江原 清浩(兼任講師)に変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「スポーツ史」の担当者を日黒 拓也(兼任講師)に変更

○水地 良明(兼任講師)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「自然科学アカデミックスキルズ(ライティング)」の担当者を小沼 明生(兼任講師)に変更

○山田 徹志(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「名著講読(自然科学)」の担当者を市川 直子(兼任准教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターシップA」の担当者を下村 恭広(兼任准教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターシップB」の担当者を下村 恭広(兼任准教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターシップC」の担当者を下村 恭広(兼任准教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「インターシップD」の担当者を下村 恭広(兼任准教授)から変更

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターシップB」の担当者を山田 深雪(兼任准教授)に変更

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターシップC」の担当者を山田 深雪(兼任准教授)に変更

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「教育インターシップD」の担当者を山田 深雪(兼任准教授)に変更

<兼任教員>

○浅尾慶一郎(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「ポリティカルサイエンス」の担当者を近 裕一(兼任講師)に変更

○木内 真人(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「宇宙科学」の担当者を吉川 真(兼任講師)に変更

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「地球科学」の担当者を岡元 太郎(兼任講師)に変更

○上岡 真紀子(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「情報サービス演習A」の担当者を松山 巖(兼任准教授)から変更

○小沼 明生(兼任講師)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「自然科学アカデミックスキルズ(ライティング)」の担当者を水地 良明(兼任講師)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「自然科学アカデミックスキルズ(リーディング)」の担当者を小酒井 正和(兼任教授)から変更

○小林 正幸(兼任講師)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「社会学」の担当者を中嶋(福嶋) 真美(兼任教授)から変更

○杉崎 えり子(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「ネットワーク入門」の担当者を田中(小野寺) 俊介(兼任講師)に変更

○杉本 ゆか(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「学校経営と学校図書館」の担当者を吉澤 小百合(兼任講師)に変更

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「読書と豊かな人間性」の担当者を吉澤 小百合(兼任講師)に変更

・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「学習指導と学校図書館」の担当者を吉澤 小百合(兼任講師)に変更

○長江 清和(兼任講師)

・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「特別支援教育」の担当者を成川 敦子(兼任准教授)に変更

○中里 亮平(兼任講師)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)人文科学科目群「文化人類学」の担当者を鎌田 伸尚(兼任教授)から変更

○宮永 望(兼任講師)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「数学入門」の担当者を日下 芳朗(兼任教授)から変更

○矢ヶ崎 朋樹(兼任講師)

・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、担当科目であるUS科目(全学共通科目)学際科目群「環境教育ワークショップI」を削除

・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、担当科目であるUS科目(全学共通科目)学際科目群「環境教育ワークショップII」を削除

【令和5年度追加】

<兼任教員>

○梶川(須田) 祥世(兼任教授)

・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)人文科学科目群「言語心理学」の担当者として追加

○COTE Travis(兼任教授)

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (B)」の担当者をCHAIKUL Rasami(兼任准教授)から変更

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF & Global Communication (A)」の担当者を黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)から変更

・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Academic Literacy 中級」の担当者を黒嶋(宮崎) 智美(兼任准教授)から変更

○杉山 倫也(兼任教授)

・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教職概論」を佐久間 裕之(兼任教授)から変更

○中村 哲(兼任教授)

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムA」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムB」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムC」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムD」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムE」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムF」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更

・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修)プログラムG」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更

- ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムH)」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更
 - ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムI)」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更
 - ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「SAE(海外留学・研修プログラムJ)」の担当者を大谷 千恵(兼任教授)から変更
 - 野本 由紀夫(兼任教授)
 - ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)人文科学科目群「人文科学アカデミックスキルズ(ライティング)」の担当者を高橋(立花) 愛(兼任教授)から変更
 - 山田 信幸(兼任教授)
 - ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「健康教育」の担当者を鈴木 淳也(兼任准教授)から変更
 - 湯藤 定宗(兼任教授)
 - ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教育の制度と経営」の担当者を坂野 慎二(兼任教授)から変更
 - ・教育体制の充実を図るため、教職関連科目群「教育課程編成論」の担当者を坂野 慎二(兼任教授)から変更
 - 渡辺明子(兼任教授)
 - ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の行事・式典A」の担当者として追加
 - ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の行事・式典B」の担当者として追加
 - ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)玉川教育・FYE科目群「玉川の行事・式典C」の担当者として追加
 - 小島(宮崎) 佐恵子(兼任准教授)
 - ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「社会科学アカデミックスキルズ(ライティング)」の担当者として追加
 - ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「社会科学アカデミックスキルズ(リーディング)」の担当者として追加
 - 成川 敦子(兼任准教授)
 - ・教育内容の充実を図るため、教職関連科目群「特別支援教育」の担当者を長江 清和(兼任講師)から変更
 - 船戸 はるな(兼任准教授)
 - ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「日本語教育概論」の担当者として追加
 - MATIKAINEN Johanna Tiina(兼任准教授)
 - ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (B)」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)から変更
 - ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (C)」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)から変更
 - KIM Miso(兼任講師)
 - ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (B)」の担当者をCHAIKUL Rasami(兼任准教授)から変更
 - ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (C)」の担当者をCHAIKUL Rasami(兼任准教授)から変更
 - 中村 幸子(兼任講師)
 - ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Introduction (B)」の担当者を岡田 トリシャ(OKADA Tricia salazar)(兼任准教授)から変更
 - 三橋 綾子(兼任講師)
 - ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「生涯スポーツ演習」の担当者を川崎 登志喜(兼任教授)から変更
- <兼任教員>**
- 江原 清浩(兼任講師)
 - ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「健康スポーツ理論」の担当者を武内(坂尾) 麻美(兼任講師)から変更
 - 岡元 太郎(兼任講師)
 - ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「地球科学」の担当者を木内 真人(兼任講師)から変更
 - 金 宇都(兼任講師)
 - ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「情報倫理と社会」の担当者を山崎 浩一(兼任教授)から変更
 - 古泉 佳代(兼任講師)
 - ・US科目(全学共通科目)カリキュラム改編に伴い、US科目(全学共通科目)学際科目群「栄養学」の担当者として追加
 - 近 裕一(兼任講師)
 - ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「ホリテカル・サイエンス」の担当者を浅尾 慶一郎(兼任講師)から変更
 - 白勢(浦邊) 美咲(兼任講師)
 - ・教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴い、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「ELF Foundation (C)」の担当者をCHAIKUL Rasami(兼任准教授)から変更
 - 鈴木 秀顕(兼任講師)
 - ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「マルチメディア表現」の担当者を立野 貴之(兼任准教授)から変更
 - 高柳 克弘(兼任講師)
 - ・教育体制の充実を図るため、US科目(全学共通科目)言語表現科目群「日本語表現102」の担当者を宮崎 真由(兼任准教授)から変更
 - 田中(小野寺) 俊介(兼任講師)
 - ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)社会科学科目群「ネットワーク入門」の担当者を杉崎 えり子(兼任講師)から変更
 - 目黒 拓也(兼任講師)
 - ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)学際科目群「スポーツ史」の担当者を武内(坂尾) 麻美(兼任講師)から変更
 - 吉川 真(兼任講師)
 - ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)自然科学科目群「宇宙科学」の担当者を木内 真人(兼任講師)から変更
 - 吉澤 小百合(兼任講師)
 - ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「学校経営と学校図書館」の担当者を杉本 ゆか(兼任講師)から変更
 - ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「読書と豊かな人間性」の担当者を杉本 ゆか(兼任講師)から変更
 - ・教育内容の充実を図るため、US科目(全学共通科目)資格関連科目群「学習指導と学校図書館」の担当者を杉本 ゆか(兼任講師)から変更

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
5	2	1	0	8	0	5	2	1	0	8	1
(5)	(2)	(1)	(0)	(8)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
5	2	1	0	8	1	5	2	1	0	8	1
[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[+1]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[+1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合は、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし(5)								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし(5)								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし(5)								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (令和4年度)	工学部ソフトウェアサイエ ンス学科の入学定員 超過の是正に努めるこ と。 【届出】 遵守事項	過年度の入試結果を踏まえ、入学定 員超過の是正ならびに入学定員60名 の確保を目標に入試判定会議におい て合格者数を決定している。令和5年 度入試も過去の入試結果における手 続率・辞退率・歩留率を参考に合格者 数を決定した。その結果、令和5年度 の入学定員超過率は1.26(令和2: 1.26、令和3:1.25、令和4:1.36)、過去 4カ年の平均入学定員超過率は1.28と なった。(5)	引き続き入試判定会議において社会 的動向や入試結果に基づき手続率・ 辞退率・歩留率を分析し、入学定員超 過率が1.00となるよう努める。(5) 履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 デザインサイエンス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p><玉川大学FD委員会規程を転載></p> <p>(目的)</p> <p>第1条 玉川大学(以下「本大学」という。)教員の、教育研究活動の向上・能力開発に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、大学FD(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という。)委員会(以下「本委員会」という。)を置く。</p> <p>(組織)</p> <p>第2条 本委員会は、委員長、委員、事務担当をもって構成する。</p> <p>2 前項の委員長は教学部長とする。</p> <p>3 委員は、各学部のFD担当があたる。</p> <p>4 委員等は、毎年度当初、学長がこれを委嘱する。</p> <p>5 委員長が必要と認めたときは副委員長を置くことができる。</p> <p>6 本委員会には学部ごとの分科会を設けることができる。</p> <p>7 前項による分科会のまとめ役及び委員は学部長が選任する。</p> <p>(任期)</p> <p>第3条 委員の任期は1か年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(運営)</p> <p>第4条 本委員会は、委員長が招集・開会し、議長となる。</p> <p>2 委員長が必要と認められた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第5条 本委員会は、次の事項を審議する。</p> <p>(1) 教育研究活動改善の方策に関する事項</p> <p>(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項</p> <p>(3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項</p> <p>(4) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項</p> <p>(5) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行</p> <p>(6) 分科会からの報告・審議に関する事項</p> <p>(7) その他FDに関連する事項</p> <p>(分科会)</p> <p>第6条 各分科会は、FD担当が取りまとめ、本委員会に検討・実施事項を報告しなければならない。</p> <p>2 各分科会にはFD活動を円滑に進めるため、FDer(ファカルティ・ディベロッパー)(以下、「FDer」)を置く。FDerはFD担当が兼ねることができる。</p> <p>(答申)</p> <p>第7条 委員長は、本委員会の審議結果を学長に答申しなければならない。</p> <p>(実施事項の決定)</p> <p>第8条 前条の答申内容の実施については、大学部長会の議を経て学長が決定する。</p> <p>(実施事項の運用)</p> <p>第9条 前条により決定した実施事項に関する実際の運用に関しては、教務委員会及び教育研究活動等点検調査委員会との調整を図りながら検討、実施するものとする。</p> <p>(事務主管)</p> <p>第10条 本委員会に係る事務主管は、教学部が行う。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和4年度は6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月)開催し、委員長1名(教学部長)、委員9名(各学部FD担当教員1名、ELFセンターFD担当教員1名)、事務担当3名により、教員の教育研究活動の質的充実を目的とした検討・立案を行った。</p>
--

c 委員会の審議事項等

大学FD委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 教育研究活動改善の方策に関する事項
- (2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項
- (3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項
- (4) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項
- (5) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行
- (6) 分科会からの報告・審議に関する事項
- (7) その他FDに関連する事項

② 実施状況

a 実施内容

- (1) 学生による授業評価アンケート
- (2) FD研修会
- (3) 授業評価検討会・授業評価総合検討会・MR(マネジメントレビュー)
- (4) 研究授業
- (5) 新任教員研修会(教育理念・目的の理解他)
- (6) 非常勤教員研修会(本学の教育改革の理解他)
- (7) FD活動報告書作成・公表

b 実施方法

c 開催状況(教員の参加状況含む)

大学FD委員会及び工学部FD委員会(学部長、主任、FD担当で構成)において下記の通り実施した。

- (1) 学生による授業評価アンケート
工学部の開講科目について、各学期それぞれ期中、期末に実施した(年4回)。結果を分析し、教育改善・学部運営に活かすと共に今後のFDの方向性を考えることを目的として実施。また、各科目担当者がアンケート結果を参照し、授業の内容と養成人材像との妥当性について点検することを目的として実施。
- (2) FD研修会
 - ①「大学教育力研修(大学 全専任教員対象)
基調講演「大学における教育DXが産み出す新たな価値」
分科会「単位の実質化を目指して～授業外学習促進について考えるWS」「玉川学園創立者小原國芳の授業観を手がかりに担当科目の授業を点検する」「English Medium Instruction (EMI) using ELF at Tamagawa University / 玉川大学におけるELFを用いたEnglish Medium Instruction (EMI)の取り組み」他を実施。
 - ②「所有権と学校生活」に関する研修(大学 全教員対象)
所有権に関する法的概念および学生や教職員の放置物の適切な対処方法の理解を目的としてオンデマンドビデオ研修を実施。
 - ③工学部FD研修会(工学部)
工学部全教員が、入学時に実施する数学、物理のプレースメントテストの結果やGPA、単位修得率に基づく専門科目の受講者動向を共有することで、組織的にカリキュラムを展開し、学修指導に効果的に反映することを目的として実施。
 - ④数理・データサイエンス・AI教育に関する研修(工学部)
数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムの「リテラシーレベルモデルカリキュラム対応教材」のオンデマンドビデオ研修を実施。数理・データサイエンス・AI教育実施環境構築への理解深化を目的として実施。
- (3) 授業評価検討会・授業評価総合検討会・MR(マネジメントレビュー)(工学部)
平成29年まで認証を受けていたISO9001の教育クオリティマネジメントシステムに基づき実施している。
授業評価検討会(学科別に全教員で構成)では、各学期の終了後に学科ごとに作成する「授業実施チェックシート」や授業アンケートの集計結果に基づき、授業改善を検討する。その後、授業評価検討会の結果を基に、授業評価総合検討会(教務主任、教務担当、FD担当で構成)において、当該年度の検証および次学期以降の方針について検討を行う。
MR(マネジメントレビュー)では各学科の結果に基づき、工学部全体の教育活動全体の検証および次学期以降の方針について検討を行う。
- (4) 研究授業(工学部)
学期ごとに各学科1名の教員が自身の担当科目の参観授業(研究授業)を実施。参観者の評価に基づき授業改善を行うことを目的として実施。参観者は「工学部研究授業チェックシート」を授業担当者に提出する。授業担当者は参観者の評価を受け「研究授業科目担当者票」を作成し、学部長、教務主任、学科主任、教務担当、FD担当に提出する。
- (5) 新任教員研修会(大学 全新任専任教員対象)
玉川学園の建学の精神、玉川大学の教育理念・教育方針を理解し、専任教員としての業務に必要な知識を得ることを目的として実施。
- (6) 非常勤教員研修会(大学 全非常勤教員対象)
本学で授業を担当するにあたり、本学が目指す教育および教育改革について理解することを目的として実施。
- (7) FD活動報告書作成・公表(大学全体)
玉川大学FD委員会における議事及び全学的FD活動及び各学部FD活動の報告、授業評価アンケートの結果を公表。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業アンケート結果に加え、研究授業によって教員の評価を受けることで様々な視点から授業改善につなげることができた。研究授業においては、例えば演習問題の量、授業内において演習に取り組むタイミングなど細部まで意見が得られたことから、授業の内容だけでなく、授業構成の改善などに結びつけることができた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年4回実施(春学期・秋学期 それぞれ期中・期末に実施)

b 教員や学生への公開状況、方法等

全科目(ユニバーシティ・スタンダード科目および専門科目)を対象として授業評価アンケートを実施、結果を教員にフィードバックおよびWebページで公開した。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

社会が急激に変化する時代においては、与えられた問題を解くのではなく、自ら課題を発見し解決手法を自ら作り出していく人材が必要である。種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力を有した人材を育成すべきといった社会の要請にこたえるため、工学部デザインサイエンス学科では、解が一つに定まらない社会の課題に対し、機械工学分野を中心とした科学、技術を活用して、実現可能な解を見つけることができる「デザイン能力」を有する技術者の育成を目指した教育を行っている。

この人材養成の目的を達成するため、以下の方針で教育課程を編成している。

- ・数学・物理学などの自然科学分野から、経済学・社会学などの社会科学分野、芸術・哲学・英語・日本語などの人文科学・語学分野まで、多様な学問分野を幅広く学ぶ。
- ・課題を発見し解決する力を身に付けるために、工学倫理、知的財産分野(特許や工業デザインなどの知的財産権)、デザイン分野(人間工学・プロダクトデザインなど)、ロボット分野(機構デザイン・メカトロニクスなど)、環境分野(ソフトエネルギー・都市環境デザインなど)について、地球環境・人類にとって有益であるという観点を基本にして学ぶ。
- ・課題の解決策(解)を社会実装するために、現場での実体験を重視した実験・実習・演習科目を通じて、創造力・コミュニケーション力・イノベーション力を養い、企画・設計・実行・報告などの能力を身に付ける。
- ・課題を多角的に把握するために、商品企画・マーケティング・資金調達などのビジネス分野も学ぶと同時に、研究室活動・学内外各種コンテスト・学会活動等を通じて、再度、課題の発見と解の策定を統合的に学び、「デザイン能力」の完成を目指す。

上記方針に基づき、基礎から専門まで幅広い知識を学修すると共に、様々な技能を修得した上で、それらの知識や技能に基づいた実践力を身に付けられるようにカリキュラムを編成している。幅広い知識を学修する科目は講義形式を中心として、様々な技能を修得する科目は演習形式を中心として授業を実施している。

また、設置計画の通り、各学期に履修登録できる単位数の上限を原則16単位と定め、単位制度の実質化を図っている。そのため、授業と授業との間に空き時間を設定し予習・復習の時間を確保できるように時間割を工夫している。

このように、設置計画通りに令和5年4月より教育活動を展開している。

実際の取組の達成状況は以下の通りである。

1.教育課程

教育課程の編成の基本方針・考え方に基づいて、設置計画の通り、授業科目を開設した。ただし、全学共通のユニバーシティ・スタンダード科目群においては、教育の充実を図ることから開設科目の追加、名称変更を行った。

2.教員組織

教員組織の編成の考え方に基づいて、設置計画の通り、専任教員を配置した。

3.教育方法および履修指導

専門の知識、技能の往還を図りながら体系的に学修できるカリキュラム編成、主体的な学びを目指したアクティブ・ラーニングの導入、履修科目登録上限の16単位設定、学修の質を評価するGPA制度の導入、履修ガイダンスの開催など、設置計画通りに実施している。

4.施設・設備

教育・研究活動に必要な施設・設備は、設置計画通りに整備した。なお、学生の主体的な学びを促進させるための施設「大学教育棟2014」は、図書館、講義室、研究室、大学事務室をはじめとする学修支援の機能を集約した複合施設で、ラーニング・commonsにより学生が主体的に学修できる空間を多く配置している。また隣接して食堂棟を設置している。

また、異分野融合によってイノベーションを創出する人材育成の場として建設された「STREAM Hall2019」には、デジタルマシンや工作機械を配置した「メーカーズフロア」を設置。モノづくりのスペースだけでなく、「シェアアイデアスペース」や「プレゼンテーションステップ」といったオープンスペースを多く配置することで、自由に議論をしながらアイデアを形にすることを可能としている。また、同じく異分野融合を図ることを目的として建設された「Consilience Hall 2020」には、「NextGen. Mobility Work Shop(ソーラーカー工房)」を設置。新エネルギーの利用技術の研究に取り組めるようになっている。

5.学生の受入れ

計画した入学者選抜方法に基づいて、募集、試験、選抜を行っている。

6.情報の公表

設置計画の通り、人材養成等教育研究に係る目的、教育課程、入学や学修機会に関する情報などを大学案内の冊子やホームページに掲載し、広く周知を図るよう努めている。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
- b 公表方法

「2017自己点検・評価報告書」を平成30年5月に本学ホームページに掲載し公表した。

③ 認証評価を受ける計画

平成30年度に認証評価機関(公益財団法人大学基準協会)の認証評価を受け、平成31年3月に適合認定を受けた。
また、大学院教育学研究科教職専攻(専門職学位課程)は令和2年度に認証評価機関(一般財団法人教員養成評価機構)の認証評価を受け、適格認定を受けた。いずれも次回は令和7年度に受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和5年度)

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

- b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。